はじめに

勉強方法

文章問題

①読む

——まず文章を読みましょう。

↓

②線を引く

——大切だと思うところにチェックをしましょう。

↓

③問題を解く

——文章の後についてある問題を解きましょう。

↓

④文章の解説動画を見る

——わからないところがあれば、ノートをとっておきましょう。

※③と④は入れかわってもかまいません。

↓

⑤問題の解説動画を見る

——丸つけをしながら、まちがったところを理解しましょう。

（授業動画は《文章（本文）の解説 ↓ 問題の解説》の順で展開（てんかい）されているので、①②の段階（だんかい）で難（むずか）しく思うのであれば、まず④の解説を見てから問題を解いてください。その後、問題を解いてみましょう。）

↓

⑥復習

——文章を音読し、意味のわからないところがないか確認（かくにん）。

——また、まちがった問題、正解していたけれどよくわかっていなかった問題をもどって確認しましょう。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

知識問題

①知識の解説動画を見る

――問題を解く前に必ずチャプターーの解説を見てください。

――まちがった考え方で解いてしまうと、まちがった考え方のクセがついてしまうので、その前に動画で正しい考え方を理解してから解きましょう。

←

②問題を解く

――考え方を身につけた後に、問題を解いてみましょう。

←

③問題の解説動画を見る

――丸つけをしながら、まちがった問題の考え方を理解していきましょう。

←

④復習

――まちがった問題をしっかり見直し、やり直しましょう。自分の考え方がまちがっていないか確認(かくにん)したり、覚えないと解けないところは暗記したりしてください。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第一講　きいちゃん（物語文）……p.5
第二講　ガラスの小びん（物語文）……p.13
第三講　暮らしと道（説明文）……p.18
第四講　これが「週刊こどもニュース」だ（随筆）……p.23
第五講　ちいさな言葉（随筆）……p.29
第六講　熟語の組み立て（漢字）……p.34
第七講　詩……p.41
第八講　短歌・俳句……p.47
第九講　セミたちと温暖化（説明文）……p.58
第十講　ロシアパン①（物語文）……p.63
第十一講　ロシアパン②（物語文）……p.69
第十二講　近代科学の父　ガリレオ・ガリレイ①（伝記）……p.74
第十三講　近代科学の父　ガリレオ・ガリレイ②（伝記）……p.79
第十四講　ことわざ、慣用句……p.84
第十五講　文の組み立て……p.92
第十六講　ことばの種類……p.99

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講　バイオリンと歩むなかから（随筆）……p.104
第十八講　支え合う仲間（論説文）……p.108
第十九講　ぼくの世界、きみの世界（論説文）……p.112
第二十講　豊かさのゆくえ（説明文）……p.116
第二十一講　古典……p.121
第二十二講　愛を運ぶ人　マザー＝テレサ①（伝記）……p.128
第二十三講　愛を運ぶ人　マザー＝テレサ②（伝記）……p.133
第二十四講　生き物はつながりの中に、〈勝負脳〉の鍛え方（説明文）……p.139

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講・きいちゃん（物語文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

きいちゃんは、教室の中で、いつもさびしそうでした。たいていのとき、うつむいて、独りぼっちですわっていました。

だから、きいちゃんが職員室のわたしのところへ、「せんせい。」って、大きな声で飛びこんで来てくれたときは、本当にびっくりしました。①こんなにうれしそうなきいちゃんを、わたしは初めて見ました。

「どうしたの。」

そうたずねると、きいちゃんは、

「お姉さんが結婚（けっこん）するの。わたし、結婚式に出るのよ。」

って、にこにこしながら教えてくれました。

「わたし、何着て行こうかな。」

と、とびきりのえがおで話すきいちゃんに、②わたしも、とてもうれしくなりました。

それから一週間くらいたったころ、教室で、机（つくえ）に顔をおし付けるようにして、一人で泣いているきいちゃんを見つけました。

なみだでぬれた顔を上げて、

「お母さんがわたしに、結婚式に出ないでほしいって言うの。お母さんは、わたしのことがはずかしいのよ。お姉さんのことばかり考えているの。わたしなんて、生まれてこなければよかったのに――。」

やっとのことでそう言うと、また、激（はげ）しく泣きました。

でも、きいちゃんのお母さんは、いつもいつも、きいちゃんのことばかり考えているような人でした。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

きいちゃんは、小さいときに高熱が出て、それがもとで、手や足が思うように動かなくなってしまいました。そして、高校生になった今も、訓練を受けるためにおうちを遠くはなれて、この学校へ来ていたのです。

〈山元(やまもと)加津子(かつこ)「きいちゃん」より〉

(1)　——線①「こんなにうれしそうなきいちゃんを、わたしは初めて見ました」とありますが、ふだんのきいちゃんはどんな様子なのですか。文中から八字でぬき出しなさい。

(2)　——線②「わたしも、とてもうれしくなりました」とありますが、ここからわかる「わたし」の人物像としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　きいちゃんのお姉さんの気持ちを考えられない冷たい人物。

イ　きいちゃんの気持ちをまったく理解しないいたよりない人物。

ウ　きいちゃんのことをいつも気にしている心のやさしい人物。

エ　きいちゃんができないことをはっきりと言う厳(きび)しい人物。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)「わたし」は、きいちゃんのお母さんをどんな人物だと思っていますか。文中の言葉を使って答えなさい。

[　　　　　　]

(4) きいちゃんはなぜこの学校に通っているのですか。次の文の[　]にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

きいちゃんは小さいときに[　　]が出て、[　　　]が思うように動かなくなってしまったので、[　　]を受けるために、高校生になった今もおうちを遠くはなれたこの学校に通っている。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

宅配便(たくはいびん)で、お姉さんのところへゆかたを送ってから、二日ほどたったころでした。きいちゃんのお姉さんから、わたしのところに電話がかかってきました。

お姉さんは、きいちゃんだけでなくて、わたしにまで結婚式(けっこんしき)に出てほしいと言うのです。わたしは、きいちゃんのお母さんの気持ちを考えると、どうしたらいいのか分からず、お母さんに電話をしました。

お母さんは、

「①あの子が、どうしてもそうしたいと言うのです。出てやってください。」

とおっしゃるのです。わたしは、きいちゃんと結婚式に出ることにしました。

花よめ姿(すがた)のお姉さんは、とてもきれいでした。そして、幸せそうでした。わたしも、とても幸せな気持ちになりました。でも、気になることがありました。

式が進むにつれて、結婚式に出ておられた何人かの方が、②きいちゃんを見て、何かひそひそ話しているのです。「きいちゃんは、どう思っているかしら。やっぱり出ないほうがよかったのではないかしら。」と、そんなことを考えていたときでした。花よめさんが、お色直しをして、とびらから出てきました。

お姉さんは、きいちゃんがぬったあのゆかたを着て、出てきたのです。ゆかたは、お姉さんに、とてもよく似合っていました。きいちゃんもわたしもうれしくてたまらず、手をにぎり合って、きれいなお姉さんばかり見つめていました。

お姉さんは、おむこさんとマイクの前に立たれて、こんなふうに話しだされました。

「このゆかたは、わたしの妹がぬってくれました。妹は、小さいときに高い熱が出て、手足が不自由になりました。そのために、家からはなれて生活しなくてはなりませんでした。家で父や母と暮(く)らしているわたしのことを、うらんでいるのではないかと

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

思ったこともありました。でも、妹は、そんなことは決してなく、わたしのために、こんな立派（りっぱ）なゆかたをぬってくれたのです。妹はわたしの誇（ほこ）りです。」

そして、きいちゃんとわたしを呼（よ）んで、わたしたちをしょうかいしてくれました。

「これが、わたしの大事な妹です。」

③式場じゅうが、大きな拍手（はくしゅ）でいっぱいになりました。

なんてすばらしい姉妹でしょう。わたしは、なみだがあふれてきて、どうしても止めることはできませんでした。

きいちゃんは、きいちゃんとして生まれ、きいちゃんとして生きてきました。そして、④これからも、きいちゃんとして生きていくのです。もし、名前をかくしたり、かくれたりしなければならなかったら、きいちゃんの生活は、どんなにさびしいものになったでしょうか。

きいちゃんは、お母さんに、

「生んでくれてありがとう。」

とお話ししたそうです。

きいちゃんは、とても明るい女の子になりました。これが、本当のきいちゃんの姿だったのだと思います。あの後、きいちゃんは、和裁（わさい）を習いたいと言いました。そして、それを一生のお仕事に選びました。

〈山元（やまもと）加津子（かつこ）「きいちゃん」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「あの子が、どうしてもそうしたいと言う」とありますが、具体的にはどうしたいのですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　きいちゃんが、お姉さんの結婚式に出たいということ。

イ　きいちゃんが、お姉さんの結婚式に「わたし」といっしょに出たいということ。

ウ　お姉さんが、きいちゃんに結婚式に出てほしいということ。

エ　お姉さんが、きいちゃんと「わたし」に結婚式に出てほしいということ。

［　］

---

(2)　――線②「きいちゃんを見て、何かひそひそ話している」とありますが、どんなことを話していたのだと考えられますか。次の文の［　］にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

きいちゃんの［　　　　　　］だということ。

(3)　――線③「式場じゅうが、大きな拍手でいっぱいになりました」とありますが、なぜだと考えられますか。次の文の［　］にあてはまる言葉を答えなさい。一つ目と二つ目の［　］は文中からぬき出し、三つ目の［　］は自分で考えて答えなさい。

結婚式にきていた人たちが、［　　　　　］と［　　　　］の強いきずなに、［　　］したから。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(4)　――線④「これからも、きいちゃんとして生きていく」とありますが、ここから「わたし」のどのような心情がわかりますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　きいちゃんはありのままのきいちゃんでいいのだという気持ち。

イ　きいちゃんに手足が治るように努力してほしいという気持ち。

ウ　きいちゃんに今よりも強く生きていってほしいという気持ち。

エ　きいちゃんは本当の自分を取りもどした方がいいという気持ち。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講・確認テスト

次の漢字の部首を選びなさい。

1 校
ア きへん　イ いとへん
ウ ごんべん　エ さんずい

2 部
ア こざと　イ おおざと
ウ りっとう　エ おおがい

3 聞
ア みみ　イ かくしがまえ
ウ もんがまえ　エ くにがまえ

4 厚
ア ひ　イ こ
ウ まだれ　エ がんだれ

5 広
ア がんだれ　イ やまいだれ
ウ まだれ　エ しんにょう

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講・ガラスの小びん（物語文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔父の自慢は、高校野球の選手として甲子園に出場したことであり、その時持ち帰った「甲子園の土」をとても大切にしていた。〕

小学校六年生のとき、わたしは、ひどく父からしかられたことがあって、①甲子園の土を捨てた。たぶん、しかられた理由は、わたしの心構えがあまいとか、真剣味が足りないとか、そういったことであったと思うが、わたしの父への小さな反発が一気に爆発して、ガラスの小びんを持ち出すと、中の土を、それこそぱっと捨てた。㋐

どんなに値打ちがあり、どんなにありがたい土でも、庭の土に混じってしまうと、すばらしさを証明することはできなくなり、わたしは、空っぽのびんを手にしたまま、②笑いだしたい気持ちになっていた。これでもう、父がえらそうに見えなくなると思うと、心が晴れ晴れとしてくるのだった。㋑

しかし、それからが大変だった。いい気持ちになったのは、ほんの一瞬のことで、③とんでもないことをしてしまったという後悔がおそってきて、わたしは、庭の土の中から、甲子園の土をより分けようと必死になったが、むだな作業だった。㋒

父がどんなにおこるだろう、ということが気になった。そして、父の心――ほこりや、自信や、かがやかしい思い出まで捨ててしまったと思うと、大変な罪をおかしてしまったような気にさえなった。

㋓

その日の夜、父は、意外なことに、わたしをおこらなかった。

「そうか。捨ててしまったのか。」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

とだけ言い、なぜか［　　］顔をしていた。

わたしは、ごめんなさいと言い、空っぽのガラスの小びんをおしやると、父は、赤い文字で「甲子園の土」と書いたラベルをつめではがし、わたしに返してきた。

「おこらない。その代わり、おまえがこれに何かをつめるんだ。④お父さんの甲子園の土に代わるものをつめてみせてくれ。」

それから、もう何年もたつ。しかし、ガラスの小びんはまだ空っぽのままである。まだなのかと、父の声が聞こえる気がする。

わたしがほこりとともにこれにつめるものは、月の石なのか、南極のこけなのか、それとも、わたしのあせのしずくなのか、まだ決められない。

〈阿久悠「ガラスの小びん」より〉

---

(1) ――線①「甲子園の土を捨てた」とありますが、そのような行動をとってしまったのは「わたし」のどのような思いの表れですか。その思いを、文中から五字でぬき出しなさい。

［　　　　　］

(2) ――線②「笑いだしたい気持ち」とありますが、このときの「わたし」の気持ちを説明した次の文の［　　］a・bにあてはまる言葉を、文中からそれぞれ五字以内でぬき出しなさい。

これからは父のことが［ a ］に見えなくなるという［ b ］とした気持ち。

a ［　　　　　］

b ［　　　　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)　――線③「とんでもないことをしてしまった」とありますが、これについて次の問いに答えなさい。

あ　「とんでもないこと」を別の言葉で何と表現していますか。文中から四字でぬき出しなさい。

い　そうしたことで、父に対してどんなことをしてしまったと思ったのですか。文中の言葉を使って答えなさい。

(4)　この文章には次の文がぬけています。この文を入れるのにふさわしいところを文中のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

わたしは、庭土の混じった土をびんにつめ、そして、また捨て、ここにつまっていたものはなんだったのだろうかとふるえた。

(5)　□にあてはまる言葉としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　暗い　　イ　悲しい

ウ　明るい　　エ　つらい

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(6)　――線④「お父さんの甲子園の土に代わるもの」とは、「わたし」にとってどのようなものなのですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自分のかがやかしい成功を収（おさ）めたもの。

イ　自分の一生の思い出となるようなもの。

ウ　自分では買えないような高価なもの。

エ　自分の自信となりほこれるようなもの。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講・確認テスト

次の漢字の部首を選びなさい。

１　起
ア　しんにょう　イ　そうにょう
ウ　えんにょう　エ　れんが

２　雪
ア　うかんむり　イ　たけかんむり
ウ　くさかんむり　エ　あめかんむり

３　京
ア　れっか　イ　おおがい
ウ　なべぶた　エ　ごんべん

４　助
ア　ちから　イ　りっしんべん
ウ　まだれ　エ　おおがい

５　社
ア　ごんべん　イ　しめすへん
ウ　いとへん　エ　りっとう

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講・暮らしと道（説明文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

江戸時代になると、幕府は、国を治めるためにも経済の繁栄のためにも道が重要であると考え、古い道を整備し、新しい道を開くことに力を注いだ。①街道には、一里（約四キロメートル）ごとに、遠くからでも見える大きなつかを造った。つかを目印にして、人は歩いたきょりを知ることができた。道の両側には、すぎや松の木を植えた。それらの木々は、冬の冷たい風と、夏の強い日ざしを防いだ。また、二里くらいの間隔で＊宿場を設けて、荷物を運ぶ人と馬とを用意した。

②人々は、安心して旅を続けることができるようになった。すると、旅人を相手にする宿屋・茶店のほかに、かごや馬で人を運ぶ商売などもさかんになって、道はますます活気づいてゆく。

必要にせまられて旅をする人だけではなく、③楽しみで旅をする人も出てきた。寺や神社へお参りする旅もそうで、お参りに行く道を歩きながら、人々は、美しい風景や人の情けにふれて心がなごみ、自分の住んでいる村にはない、暮らしの知恵なども知った。

また、道に沿った所に住む人々も、旅人や旅芸人や行商人から、世間のできごとやめずらしい話を聞いたり、薬などの生活に必要な品物を手に入れたりすることができた。道は、通っていく人と住んでいる人とがふれ合う、貴重な場所でもあったのである。

〈西山　妙「暮らしと道」より〉

＊宿場＝街道の途中にある、旅人をとめたり休ませたりする設備のある所。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「街道」は、何のために整備されたのですか。文中の言葉を使って二つ答えなさい。

(2)　――線②「人々は、安心して旅を続けることができるようになった」のはなぜですか。次の中からふさわしくないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア　街道沿いに宿場が設けられ、道の半ばで休むことができたから。

イ　すぎや松の並木（なみき）が、冬・夏の厳（きび）しさを防いでくれたから。

ウ　街道につかが造られ、歩いたきょりがわかるようになったから。

エ　旅をする人すべてに、荷物を運ぶ人や馬が用意されたから。

(3)　――線③「楽しみで旅をする人」とありますが、楽しみでする旅の例を文中から十一字でぬき出しなさい。

(4)　この文章におけるまとめを述べている一文を文中からぬき出し、初めの五字を答えなさい。（、や。も一字と数えます。）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

明治時代になると、①道は変わっていった。人と、荷物を負った牛や馬が歩くだけだった道に、人を乗せて走る人力車が現れ、大勢の人を乗せた大型の馬車も、風のように走るようになった。それは、文明の開化を告げる明るい光景であったことだろう。けれど、人と道との結びつきは、そのころから少しずつ失われ始めたのである。

自動車が初めて輸入されたのは、明治時代の半ば過ぎだった。それから百年以上が過ぎ、今、わたしたちは、車社会の中に生きている。トラックが大量の物を、しかも早く輸送し、人々は車を使って快適に目的地へ行くことができる。そして、こうした時代にふさわしく、②道路は山々をぬけ、島と島をも結び、縦横（じゅうおう）に広がっているのである。

一方、わたしたちの周りの道を見ると、車があふれるように行き来し、車だけの通路になっていることが多い。そこで、近年では、歩く人を主役に考える新しい道造りが、各地で試みられている。

例えば、人だけが歩く遊歩道。木や草花を植え、水のせせらぎなども設けた道。ベンチでくつろげるような場所をもった道。あるいは、車を通さない区域（くいき）を町の中に決めている所もある。いずれも、単なる通路ではない道を求める③人々の願いから生まれたのであろう。

④新しい試みは、しだいに広がっている。一つ一つの道が、わたしたちの暮（く）らしにとけこんでいくにつれて、「生活の場」としての道、「人と人がふれ合う場」としての道は、再び息をふき返すにちがいない。

〈西山（にしやま）　妙（たえ）「暮らしと道」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（１）――線①「道は変わっていった」とありますが、㋐どう変わっていったのですか。また、㋑どんな問題が出てきましたか。㋐は□にあてはまる言葉を文中からぬき出し、㋑は文中の言葉を使って答えなさい。

㋐ □□と□□□が歩くだけだった道に、□□□や□□□□□が現れて、風のように走るようになった。

㋑ □

（２）――線②「道路」とありますが、それを説明した次の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□で生きる時代にふさわしい道。

（３）――線③「人々の願い」とありますが、どんな願いですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　車を使って快適に移動することができる通路を求める願い。
イ　生活の場、人と人がふれ合う場としての道を求める願い。
ウ　物を早く輸送するために、縦横に広がる道路を求める願い。
エ　車を通さないで、人だけが歩くことができる道を求める願い。

□

（４）――線④「新しい試み」とありますが、どんな試みかを示している言葉を、文中から十六字でぬき出しなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講・確認テスト

次の漢字の中で、総画数が他と異なるものを一つ選びなさい。

1　ア　争　イ　仮　ウ　交　エ　防

2　ア　希　イ　私　ウ　色　エ　兵

3　ア　服　イ　厚　ウ　迷　エ　革

4　ア　専　イ　速　ウ　退　エ　飛

5　ア　庭　イ　席　ウ　俳　エ　終

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講・これが「週刊こどもニュース」だ（随筆）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一九九七年の夏、舞台芸術家の妹尾河童さんの「少年H」をアニメ化し、「*こどもニュース」の夏休み特集で放送しました。これは、妹尾さんが子供だった太平洋戦争中の出来事を、自分を主人公に書いた小説です。

戦争中の出来事について、①出演者の子供たちに感想を言ってもらうことにして、アニメを見てもらい、放送前の打ち合わせで感想を求めました。すると、なんの感想も出てきません。実に何もないのです。何も言えません。「君はどう思うんだ」とみんなで問いつめたら、子供たちは泣き出してしまいました。今から考えると、とってもかわいそうなことをしたものです。でも、それまで出演者の子供たち、「君はどう思う？」と自分の頭で考えることをうながされたことがなかったんですね。

仕事で子供たちと付き合うことになって、一番感じていることは、今の子供たちが［　　］訓練を全く受けていないということです。学校では、教えられたことを、テストでどう〝再現〟するかという訓練は受けています。何が正解なのかもはっきりしています。しかし、これは②学校内だけのこと。実社会に出ると、何が正解なのかはっきりしないことが多いですし、そもそも正解なんかないこともあるのです。

自分の頭で考える訓練や習慣のない子供たちは、自分で判断しなければならない状況に直面すると、しりごみしてしまい、判断停止になってしまいます。

こんな子供たちがやがて大人になり、社会人になると、上から指示されたことだけをする〝③指示待

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ち族〟になり、上から言われた通りのことをするようになるのではないかと心配しています。上がもし判断をまちがえたら、みんなそろってまちがえてしまうからです。

〈池上（いけがみ）　彰（あきら）「これが『週刊こどもニュース』だ」より〉

＊こどもニュース＝ニュースや社会問題を、子供にも分かりやすく報道・解説する番組。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「出演者の子供たちに感想を言ってもらう」つもりでいた筆者ですが、実際にはどうなりましたか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　アニメを見た子供たち全員が同じような感想を持っていた。

イ　アニメの内容がむごいものだったから子供に見せられなかった。

ウ　アニメを見た子供たちは何の感想も持っていなかった。

エ　アニメの内容が難(むずか)しすぎて子供たちには理解できなかった。

□

(2)　□に入るふさわしい言葉を文中から八字でぬき出しなさい。

□□□□□□□□

(3)　――線②「学校内」とありますが、これと反対の意味で使われている言葉を、文中から三字でぬき出しなさい。

□□□

(4)　――線③「指示待ち族」とは、

㋐　どんな人ですか。「……人」に続く形で、文中から十五字でぬき出しなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□人

㋑　なぜ問題なのですか。一文を文中からぬき出し、初めと終わりの三字を答えなさい。（、や。も一字にふくみます。）

初め □□□

終わり □□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

とつぜん「自分で判断しろ」と言われても、その訓練を受けずに大人になった人たちには、難（むずか）しいことです。

自分たちの子供（こども）が、①そんな目にあわないようにするためにも、次の世代の子供たちに、日ごろから「自分の頭で考える」習慣を身につけてもらわなければなりません。

「こどもニュース」のうら話になりますが、「こどもニュース」の出演者の子供たちは、当初はニュースのことが全く分からず、ニュースについての意見、感想をスタッフや私（わたし）が求めても、何も言えませんでした。たまに一人が少し感想を言うと、残りの子も「同じ」と言うだけでした。それを「さあ、見てどうだった」と問いつめて、自分の頭で考えさせてきました。こんなことをくり返しているうちに、この章の始めのエピソードのように、泣き出してしまうこともあったのです。

しかし、毎週毎週、「君はどう感じた？」「あなたはどう思ったの？」と自分で考えなければならないように仕向けていたら、そのうち、しっかり自分の考えを言えるようになったのです。それも、他人からの借り物の言葉ではなく、自分の言葉として言えるようになりました。

しかも、他の子が自分と同じようなことを先に言ってしまったら、自分は少しでもちがうことを言おうと努力するのです。②私は、うれしくなってしまいました。③この力は、きっと将来（しょうらい）生きていく上で、おおいに役に立つはずです。

〈池上（いけがみ）　彰（あきら）「これが『週刊こどもニュース』だ」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「そんな目」とは、具体的にどんなことを指していますか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

だれかに「□□□□□□□」と言われたときに、□□□□□□□□ことができずに困る（こま）こと。

(2)　――線②「私は、うれしくなってしまいました」とありますが、筆者がこのように感じたのはなぜですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　子供たちが他人よりも先に意見を言ってしまおうと競い合っているから。

イ　子供たちがニュースで知った言葉を正確に表現することができたから。

ウ　子供たちがニュースのことがよくわかるエリートになることができたから。

エ　子供たちが他人とはちがう自分の考えを言おうとするようになったから。

□

(3)　――線③「この力」とは、具体的にどんな力ですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

将来「□□□□□□□」と言われたとき、□□を受けているので、自分の頭で考えて□□□□□で□□□□□を言えるようになったり、□□□□□□□□□を言おうと努力したりする力。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講・確認（かくにん）テスト

次の漢字の中で、総画数が他と異なるものを一つ選びなさい。

1　ア　陸　イ　術　ウ　率　エ　耕

2　ア　悪　イ　森　ウ　悲　エ　報

3　ア　駅　イ　歌　ウ　器　エ　静

4　ア　劇　イ　管　ウ　熟　エ　線

5　ア　運　イ　遊　ウ　貿　エ　眼

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講・ちいさな言葉（随筆（ずいひつ））

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

息子（むすこ）は、なぜか「捨（す）てる」ことを「なげる」と言う。「なげるじゃなくて、すてる、だよ」と何度言いきかせても、すぐにまた「なげる」に戻（もど）ってしまう。

思いあたることはもちろんあって、私（わたし）の母が「捨てる」ことを「なげる」と言う。東北の方言だろうか。私などは、「ゴミをなげる」と聞くと、紙をまるめて、ゴミ箱めがけてポーンと放り投げる絵柄（えがら）がつい、頭に浮（う）かんでしまうのだが。

東北育ちの母の言葉には、このほかにも、いくつか①<u>その名残（なごり）</u>がある。「かけっこ」のことを「はねっこ」。「一円玉」のことを「一円こ」。「ほとんど」は「ほどんと」だ。

けれどそれらの言葉は、息子には伝染（でんせん）していない。□、私といる時間のほうが圧倒的（あっとうてき）に長いので、言葉は基本的には私の真似（まね）をしているはずだ。

それなのに、なぜか「捨てる」に関してだけは、母の「なげる」が、②<u>[a]についてしまった</u>。

なぜだろう……と考えていくと、これまた思いあたることがある。私の母は、家族のあいだでは「③<u>捨て魔（ま）</u>」とあだ名されるほど、モノを捨てるのが大好きだ。常に整理整頓（せいとん）していないと気がすまないたちで、家をきれいに保つ極意（ごくい）は、とにかく「なげること」。ほんとうに潔（いさぎよ）く、気前よく、迷うことなく、なんでもかんでもパッパッと捨ててしまう。

幼（おさな）い頃（ころ）の弟などは、すぐに雑誌（ざっし）やオモチャを捨てられるので、毎日のようにゴミ箱をチェックしていた。

いっぽう私はというと、母とは正反対。必要のな

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

いものまで溜め込むのが得意（？）な質である。本は特に捨てられなくて、家賃の半分は本のために払っているのではないかというぐらい、溜め込んでいる。

そんな様子を見て怒り狂う母の口ぐせは、こうだ。

「④図書館にある本は、なげなさーい!!」

つまり、私の辞書には「捨てる」という語がなく、母の日常は「なげる」に満ちている。結果、息子は「捨てる」よりも「なげる」のほうを頻繁に⑤［b］にしてきたのだろう。そういえば、母は私のところに来ても、これをなげなさい、あれをなげなさい、としょっちゅう言っている。

最近では、⑥息子の「なげる」を矯正するのは難しいかな、と思いはじめた。最初に覚えた言葉というのは、ほんとうに強い。そのうえ、このたび生活の拠点を*仙台に移すことになった。仙台で育つ息子は、どのみち「なげる」派になる運命だったのだ。

〈俵万智「ちいさな言葉」より〉

*仙台…東北地方にある宮城県の県庁所在地。

---

(1) この文章が何について書かれたものかをまとめた次の文の□にあてはまる言葉を、文中からそれぞれぬき出しなさい。

息子が［　　　］ことを［　　　］と言うこと。

(2) ――線①「その名残」とは何の名残ですか。文中から五字でぬき出しなさい。

［　　　　　］

(3) ［　］にあてはまる言葉としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　なかなか　　イ　わざわざ

ウ　そもそも　　エ　いよいよ

［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(4) ――線②「[a]について」、⑤「[b]にして」にあてはまる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

a [ ]　b [ ]

(5) ――線③「捨て魔」とありますが、母のこのような様子について、筆者はどのように感じていますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自分とはまるで違う母の性格や行動に、とまどいを感じている。

イ　母の思い切りのよさに驚きながらも、すがすがしく感じている。

ウ　母の姿にあこがれ、自分も母のようになりたいと感じている。

エ　断りもなく勝手なことをする母に、怒りと反発を感じている。

[ ]

(6) ――線④「図書館にある本は、なげなさーい!!」とありますが、この言葉が表す意味としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　家にある本はすべて、図書館に寄付をすべきだということ。

イ　家にある本を、図書館のように整理整頓すべきだということ。

ウ　図書館にある本は、大切にあつかう必要があるということ。

エ　図書館にある本は、自分で持っておく必要はないということ。

[ ]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(7)　――線⑥「息子の『なげる』を矯正するのは難しいかな」とありますが、筆者がこのように考えるのはなぜですか。理由を二つ答えなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講・確認(かくにん)テスト

次の漢字と同じ総画数のものを後から選びなさい。

1 貨
ア 健　イ 朝
ウ 暑　エ 湯

2 象
ア 魚　イ 善
ウ 深　エ 問

3 務
ア 道　イ 番
ウ 葉　エ 混

4 焼
ア 属　イ 意
ウ 福　エ 幹

5 暖
ア 答　イ 勝
ウ 勢　エ 達

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講 ● 熟語の組み立て（漢字）

一、二字熟語の組み立て

二字以上の漢字が組み合わさってできた言葉を熟語といい、二字のものが多い。

① 似た意味をもつ漢字を組み合わせたもの。

例　豊富　広大

② 反対の意味や、対になる意味をもつ漢字を組み合わせたもの。

例　高低　父母

③ 前の漢字の意味が、あとの漢字の意味を修飾しているもの。

例　温泉　急流

④ 動作を表す漢字と、「〜を」「〜に」にあたる意味の漢字を組み合わせたもの。

例　洗顔　帰国

⑤ 前の漢字の意味が、あとの漢字の表す動作や作用の主語になっているもの。

例　国立　県営

⑥ 前の漢字があとの漢字の意味を打ち消しているもの。

例　不正　未着

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2、三字熟語の組み立て

①一字と二字の組み合わせ

・前の字があとの語の様子や性質などを限定するもの。

例　急降下（きゅうこうか）　新記録　低学年

・前の字があとの語の意味を打ち消しているもの。

例　無制限　未公開　非常識

②二字と一字の組み合わせ

・あとの語が前の語の内容をまとめて物事の名前となるもの。

例　運動場　加盟国（かめいこく）　発表会

・あとに「性」「然」「的」「化」の字がついて、様子や状態を表すもの。

例　科学的　安全性　温暖化（おんだんか）

③一字の語の集まり。

例　市町村　衣食住

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1　次の(1)〜(3)は似た意味の漢字の組み合わせ、(4)〜(6)は反対の意味や、対(つい)になる意味の漢字の組み合わせの熟語(じゅくご)ができるように、□にあてはまる漢字を［　］から選び、書きなさい。

(1) □頭　(2) 減□　(3) □富

(4) 明□　(5) □他　(6) 動□

［ 豊　静　自　少　暗　先 ］

2　次の(1)〜(3)は似た意味の漢字の組み合わせ、(4)〜(6)は反対の意味や、対になる意味の漢字の組み合わせの熟語ができるように、□に漢字を書きなさい。

(1) □路　(2) 絵□　(3) □助

(4) 高□　(5) □暖(だん)　(6) 損□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 次の熟語の組み立てをあとから選び、記号で答えなさい。

(1) 着席 □　(2) 光線 □

(3) 未定 □　(4) 人造 □

(5) 不足 □　(6) 除雪 □

(7) 新年 □　(8) 非常 □

(9) 無害 □　(10) 善人 □

(11) 読書 □　(12) 県立 □

ア　前の漢字の意味が、あとの漢字の意味を修飾しているもの。

イ　動作を表す漢字と、「～を」「～に」にあたる意味の漢字を組み合わせたもの。

ウ　前の漢字の意味が、あとの漢字の表す動作や作用の主語になっているもの。

エ　前の漢字があとの漢字の意味を打ち消しているもの。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 次の熟語(じゅくご)と組み立てが同じ熟語をあとから選び、記号で答えなさい。

(1) 古都 □
(2) 無料 □
(3) 納税(のうぜい) □
(4) 利害 □
(5) 日照 □
(6) 省略 □

ア 養育　イ 往復　ウ 国旗
エ 作文　オ 町営　カ 不幸

---

5 次の□にあてはまる漢字を［　］から選んで書き、三字の熟語を作りなさい。ただし、同じ漢字は一度しか使えません。

(1) □呼吸(こきゅう)
(2) 郵便(ゆうびん)□
(3) □意味
(4) 自由□
(5) □公平
(6) 理想□

［不　局　化　深　無　的］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6 次の□にあてはまる漢字を［　］から選んで書き、三字の熟語を作りなさい。ただし、同じ漢字は一度しか使えません。

(1) □成年

(2) 指定□

(3) □習慣

(4) 松竹□

(5) □面積

(6) 温度□

［ 梅　席　未　計　表　食 ］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講・確認テスト

次の漢字と同じ総画数のものを後から選びなさい。

1 最
ア 新　イ 飼
ウ 就　エ 解

2 願
ア 顔　イ 臓
ウ 題　エ 職

3 機
ア 燃　イ 謝
ウ 優　エ 厳

4 緑
ア 線　イ 箱
ウ 導　エ 鼻

5 敵
ア 確　イ 雑
ウ 説　エ 銅

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講・詩

1、詩の種類

①言葉による分類
・文語詩…昔の言葉で書かれた詩。
・口語詩…現代に使われている言葉で書かれた詩。

②形式による分類
・定型詩…音数にある一定のきまりがある詩。
・自由詩…音数にきまりがない、自由な形式の詩。

③内容による分類
・叙情(じょじょう)詩…心情が中心の詩。
・叙景(じょけい)詩…風景を表した詩。

2、詩の表現技法

①比ゆ……あるものをほかのものにたとえて表す技法。
②擬人(ぎじん)法……人でないものを人にたとえる技法。
③倒置(とうち)法……言葉の順序を逆にして意味を強める技法。
④くり返し法…同じ言葉を何度もくり返す技法。
⑤対句(ついく)法……似た調子の言葉を対照的に並(なら)べる技法。
⑥省略法……言葉を省略して余いんを残す技法。
⑦体言止め…名詞(めいし)を終わりに置いて強調する技法。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　**次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。**

ある日ある時

黒田　三郎

秋の空が青く美しいという
ただそれだけで
何かしらいいことがありそうな気のする
そんなときはないか
空高く噴き上げては
むなしく地に落ちる噴水の水も
わびしく梢をはなれる一枚の落葉さえ
何かしら喜びに踊っているように見える
そんなときが

---

(1)　この詩の種類を次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア　文語詩　**イ**　口語詩
ウ　定型詩　**エ**　自由詩

(2)　この詩で使われている表現技法を次の中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア　擬人法　**イ**　反復法　**ウ**　対句法
エ　省略法　**オ**　体言止め

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

雨

西脇順三郎

南風は柔い女神をもたらした。
青銅をぬらした、噴水をぬらした、
ツバメの羽と黄金の毛をぬらした、
潮をぬらし、砂をぬらし、魚をぬらした。
静かに寺院と風呂場と劇場をぬらした、
この静かな柔い女神の行列が
私の舌を□。

(1) ――線「柔い女神」について、次の問いに答えなさい。

㋐ 何を表していますか。漢字一字で答えなさい。

□

㋑ このように、あるものを別のものにたとえて表す表現技法を何といいますか。二字で答えなさい。

□□

(2) □をふくむ一行には、反復法が使われています。□に入る言葉を詩の中からぬき出して書きなさい。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三題目　**次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。**

北の春

丸山(まるやま)　薫(かおる)

どうだろう
①この沢鳴(さわな)りの音は
山々の雪をあつめて
ごうごうと谷にあふれて流れくだる
このすさまじい水音は

緩(ゆる)みかけた雪の下から
一つ一つ木の枝がはね起きる
それらは固い芽のたまをつけ
不敵なむちのように
人の額を打つ
②やがて　山すその林はうっすらと
緑いろに色付くだろう
その中に　早くも
こぶしの白い花もひらくだろう

朝早く　授業の始めに
一人の女の子が手を挙げた
――先生　つばめがきました

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「この沢鳴りの音」とありますが、この音は何がどうなっている音ですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□□がとけて□に流れていく音。

(2)　――線②「やがて　山すその林はうっすらと／緑いろに色付くだろう／その中に　早くも／こぶしの白い花もひらくだろう」とありますが、この部分についての説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　去年の春の様子をぼんやりと思い出している。

イ　春めいていく様子をうっとりと思い浮かべている。

ウ　すっかり春になった様子をじっくりとながめている。

エ　周囲の様子が変わってしまうことを心配している。

□

(3)　この詩の主題としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自然の力強さに対する感動。

イ　自然の美しさを見つけたおどろき。

ウ　待ちわびた季節をむかえた喜び。

エ　季節が過ぎて行ってしまう切なさ。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講・確認テスト

次の熟語の組み立てとして正しいものを、後からそれぞれ選びなさい。

１　県立
２　男女
３　深海
４　永久
５　上流

ア　似た意味の漢字を組み合わせたもの
イ　反対の意味の漢字を組み合わせたもの
ウ　上の字と下の字が主語・述語の関係になっているもの
エ　上の字が下の字を修飾する関係になっているもの

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　短歌・俳句（はいく）

一、短歌と俳句（はいく）

①　短歌

五・七・五・七・七の三十一音からなる。

千三百年以上も昔に生まれ、奈良（なら）時代には、現存（げんそん）する最古の歌集である『万葉集（まんようしゅう）』も作られた。

②　俳句

五・七・五の十七音からなり、世界で最も短い詩とされる。季節を表す言葉である季語をよみこむ約束がある。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の短歌と俳句を読んで、あとの問いに答えなさい。

A　石走る垂水の上のさわらびの
　萌え出づる春になりにけるかも
　　　　　　　　　　志貴皇子

岩の上を水が激しく流れるたきのほとりに、わらびが芽を出している。とうとう春がやってきたのだなあ。

B　みちのくの母のいのちを一目見ん
　一目みんとぞただにいそげる
　　　　　　　　　　斎藤茂吉

東北の故郷にいる母が死を待つばかりとなったので、生きているうちに一目会いたいというその一心で、先を急いでいる。

C　金色のちひさき鳥のかたちして
　銀杏ちるなり夕日の岡に
　　　　　　　　　　与謝野晶子

D　雪とけて村一ぱいの子どもかな
　　　　　　　　　　小林一茶

E　スケートのひもむすぶ間もはやりつつ
　　　　　　　　　　山口誓子

(1)　Aの短歌では、どのようなことから春がきたことを感じ取っているか答えなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(2)　Ｂの短歌で、母親を思う気持ちがもっともよく表れている言葉を八字でぬき出しなさい。

(3)　――線「金色のちひさき鳥」とは、何をたとえて表していますか。短歌の中からぬき出しなさい。

(4)　Ｄの俳句と同じ季節をよんでいる俳句を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　夏河をこすうれしさよ手にざうり（ぞ）　与謝（よさ）蕪村（ぶそん）

イ　流れ行く大根の葉の早さかな　高浜（たかはま）虚子（きょし）

ウ　外（と）にも出よ触（ふ）るるばかりに春の月　中村（なかむら）汀女（ていじょ）

エ　朝顔につるべとられてもらひ（い）水　加賀（かがの）千代（ちよ）

(5)　Ｅの俳句は、どのような気持ちをよんだものですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　スケートがうまくできるか不安な気持ち。

イ　スケートを早くしたくてしかたがない気持ち。

ウ　スケートがうまくできてうれしい気持ち。

エ　スケートならだれにも負けないといばる気持ち。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目 次の短歌と俳句(はいく)を読んで、あとの問いに答えなさい。

A　東(ひむがし（ん）)の野にかぎろひ（い）の立つ見えて
　かへ（え）り見すれば月傾(かたぶ)きぬ
柿本(かきのもとの)　人麻呂(ひとまろ)

東に広がる野原はほのかに明るくなってきて、ふり返って見てみると、月が西のほうにしずみかけていた。

B　街をゆき子供(こども)の傍(そば)を通る時
　蜜柑(みかん)の香(か)せり冬がまた来る
木下(きのした)　利玄(りげん)

C　いつしかに<u>春の名残(なごり)</u>となりにけり
　昆布(こんぶ)干(ほ)し場(ば)のたんぽぽの花
北原(きたはら)　白秋(はくしゅう)

D　閑(しづか)さや岩にしみいる蟬(せみ)の声
松尾(まつお)　芭蕉(ばしょう)

E　とゞ（ど）まればあたりにふゆる蜻蛉(とんぼ)かな
中村(なかむら)　汀女(ていじょ)

(1) Aの短歌は、どのような時間帯についてよまれていますか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　早朝
イ　昼間
ウ　夕方
エ　深夜

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(2)　Bの短歌では、どのようなことから冬がきたことを感じ取っていますか。短歌の中からぬき出しなさい。

(3)　――線「春の名残」とは、何のことですか。短歌の中から六字でぬき出しなさい。

(4)　Dの俳句によまれているのは、どのようなことに対する感動ですか。次の文の□a・bにあてはまる言葉を、俳句の中からぬき出しなさい。（ひらがなでもかまいません）

そうぞうしい［a］さえも岩にしみこんでいくような、深い［b］に対する感動。

a
b

(5)　Eの俳句と同じ季節をよんでいる俳句を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　五月雨（さみだれ）を集めて早し最上川（もがみがわ）　松尾　芭蕉
イ　卒業の兄と来てゐ（い）る堤（つつみ）かな　芝（しば）　不器男（ふきお）
ウ　遠山に日の当（あた）りたる枯野（かれの）かな　高浜（たかはま）　虚子（きょし）
エ　柿（かき）くへ（え）ば鐘（かね）が鳴るなり法隆寺（ほうりゅうじ）　正岡（まさおか）　子規（しき）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三題目　次の短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

A　くれなゐ(い)の二*尺(しゃく)伸びたる薔薇(ばら)の芽の
針(はり)①やはらか(わ)に春雨(はるさめ)のふる
正岡(まさおか)　子規(しき)

B　*たは(わ)むれに母を背負(せお)ひ(い)て
そのあまり軽(かろ)きに②泣きて
三歩あゆまず
石川(いしかわ)　啄木(たくぼく)

C　妹の小さき歩み急がせて
千代紙(ちよがみ)買ひ(い)に行く月夜かな
木下(きのした)　利玄(りげん)

D　ねこの子のくびの*すずがねかすかにも
おとのみしたる夏草のうち
大隈(おおくま)　言道(ことみち)

*尺＝長さの単位。一尺は約三〇・三センチメートル。
*たはむれに＝ふざけて。
*すずがね＝すずの音。

(1)　――線①「やはらかに」とありますが、何の様子を表していますか。ふさわしいものを次の中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア　薔薇の花の赤い色　　イ　薔薇ののびたくき
ウ　薔薇の新芽のとげ　　エ　春雨のふり方

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(2) ——線②「泣きて」とありますが、なぜ泣けるのですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　母親が年老いてしまったことを実感したから。

イ　母親を背負って歩くことすらできなかったから。

ウ　母親に生まれて初めて恩返しができたから。

エ　母親がやせてしまった理由がわからないから。

[ ]

(3) Cの短歌の中から、妹がまだ幼(おさな)いことがわかる句（五・七・五・七・七のうちの一つの句）をぬき出しなさい。

[ ]

---

(4) Dの短歌の情景を説明した次の文の[ ]にあてはまる言葉を、短歌の中からぬき出しなさい。

草むらの中に[ ]の姿(すがた)を見つけることはできないが、つけている[ ]の[ ]だけがかすかに聞こえる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四題目　次の俳句(はいく)を読んで、あとの問いに答えなさい。

A　跳躍台(ちょうやくだい)人なしプール真青(まさを(お))なり　水原(みずはら)秋櫻子(しゅうおうし)

B　スリツ(ッ)パを越(こ)えかねてゐ(い)る仔猫(こねこ)かな　高浜(たかはま)虚子(きょし)

C　せきをする母を見上げてゐ(い)る子かな　中村(なかむら)汀女(ていじょ)

D　万緑(ばんりょく)の中や*吾子(あこ)の歯生え初(そ)むる　中村(なかむら)草田男(くさたお)

E　赤い椿(つばき)白い椿と落ちにけり　河東(かわひがし)碧梧桐(へきごとう)

F　山路来て何やら*ゆかしすみれ草(ぐさ)　松尾(まつお)芭蕉(ばしょう)

G　つかみあふ(う)子供(こども)の*たけや麦畑　向井(むかい)去来(きょらい)

H　薄氷(うすごおり)そつ(っ)くり持つ(っ)て行く子かな　千葉(ちば)皓史(こうし)

I　引つ(っ)ぱれる<u>糸まつ(っ)すぐや</u>甲虫(かぶとむし)　高野(たかの)素十(すじゅう)

J　さよならを言ひ(い)かねてゐ(い)る*あきつかな　黛(まゆずみ)まどか

*吾子＝わが子。　*ゆかし＝心ひかれる。

*たけ＝背(せ)たけ。　*あきつ＝とんぼ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) Aの俳句の季語とその季節を答えなさい。

季語 [ ]　季節 [ ]

(2) Bの俳句からは、仔猫についてどのようなことがわかりますか。次の文の[ ]にあてはまる言葉を、考えて答えなさい。

仔猫が、まだとても[ ]ということ。

(3) Cの俳句によまれている子どもの気持ちとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　せきをしている母親を心配する気持ち。
イ　母親がうるさいので腹立(はらだ)たしい気持ち。
ウ　母親がせきこんでいる様子をいやがる気持ち。
エ　早く母親に遊んでもらいたい気持ち。

[ ]

(4) DとEの俳句の表現の共通点を説明したものとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　比ゆ表現が読む者の想像を広げる。
イ　感情を表す言葉が多用されている。
ウ　色彩(しきさい)の対照があざやかである。
エ　音数が基本よりも多くなっている。

[ ]

(5) Fの俳句から、作者が季節のおとずれを感じ取っているものをぬき出しなさい。

[ ]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(6)　GとHの俳句について述べたものとしてふさわしいものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　子供同士がけんかになりはりつめた空気が流れているが、どこかほのぼのとしたところがある。

イ　子供のしんちょうな様子から、わくわくする気持ちときんちょう感とが伝わってくる。

ウ　子供たちがたくましく成長したことに、おどろきながらも喜ぶ親の思いがこめられている。

エ　楽しそうにたわむれる子供たちの様子が生き生きとえがかれ、まるで声までも聞こえるかのようである。

G　□

H　□

(7)　――線「糸まつすぐや」とありますが、なぜ糸はまっすぐに張っているのですか。俳句の中の言葉を使って答えなさい。

□

(8)　Jの俳句で使われている表現技法を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　反復法　　イ　倒置（とうち）法

ウ　擬人（ぎじん）法　　エ　体言止め

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講●確認テスト

次の熟語の組み立てとして正しいものを、後からそれぞれ選びなさい。

1 存在
2 国立
3 読書
4 強弱
5 有無

ア 似た意味の漢字を組み合わせたもの
イ 反対の意味の漢字を組み合わせたもの
ウ 上の字と下の字が主語・述語の関係になっているもの
エ 動作を表す漢字と、「〜を」「〜に」にあたる意味の漢字を組み合わせたもの

第九講・セミたちと温暖化（説明文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

もう三〇年以上も前、まだ東京の農工大に教員として勤めていたときのことだ。そのころのぼくは小金井にあった農工大の宿舎に住んでいた。階下と二階に一間ずつしかない①狭い宿舎だった。

ある年の正月。前から知っていた成城学園小学校の庄司和晃先生が、何やら大きな風呂敷包みを抱えて②ひょっこり訪ねてきた。

お通しすべき応接間もない。玄関先で先生は、*やおら風呂敷包みを開き、折り畳まれた紙を広げて③ぼくに見せてくれた。

それには何と、画用紙から切り抜いたアリの絵が大きな紙にたくさん貼りつけてあった。

「これは子どもたちが描いたアリの絵です」と先生はいう。

授業のはじめ先生は、生徒たちに一枚ずつ画用紙を渡し、いきなり「さあ、この紙にアリの絵を描いてみなさい」と言ったのだそうである。生徒たちは当惑した。みんな一生けんめい頭の中でアリの姿を思いうかべ、それを絵に描こうと努力した。

絵ができあがると、先生は子どもたちの作品を一枚ずつ集め、職員室で丁寧に切り抜いて、大きな紙に貼っていった。それが一年生のから六年生のまで合計六枚になった。先生が一枚ずつ広げてくれるその絵を順番に見ていくと、④じつにおもしろかった。

アリというから小さく小さく描いている子。かと思うと、一〇センチもある巨大なアリを描いている子。みな思い思いに描いている。

ひげ（触角）にリボンをつけているのは女の子の描いた絵だ。子どもたちがそれぞれに抱いているさ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

まざまなアリの姿の思いに、ぼくは感嘆(かんたん)した。

〈日高(ひだか)　敏隆(としたか)「セミたちと温暖化(おんだんか)」より〉

＊やおら＝ゆっくりと動作を始める様子。

(1) ——線①「狭い宿舎」とありますが、宿舎が狭いということがわかる一文を、これよりあとの部分からぬき出しなさい。

□

(2) ——線②「ひょっこり訪ねてきた」とありますが、庄司先生は何のために筆者を訪ねたのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□□□□□□□
□□□□を見せるため。

(3) ——線③「ぼくに見せてくれた」とありますが、それを見たときの筆者の反応を最もよく表している漢字二字の言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□

(4) ——線④「じつにおもしろかった」とありますが、筆者はなぜこのように感じたのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

子どもたちが□□□□□描いた
アリの絵からは□□□□□□
□□□□□□□□□□
□□□□□□が伝わるようだったから。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

庄司先生が、上、中、下と三段になったアリの絵を見せてくれた。それは一人の子どもが描いたアリの絵で、上段はいきなりアリを描きなさいといって描かせたもの、中段はアリを実際に見ながら描かせたもの、下段は先生が説明したあとで描かせたものだということだった。

「さあそれからひげだ。触角はどっち向いてる？　後向きになってるかい？」

子どもたちはそこでまたあらためて気がついた。

「あ、前向きになってる！」

「そうだろ。アリさんは触角で前を探りながら歩くから、触角が後ろ向きになっていたら困るんだよ」

子どもたちはうなずいた。

「さあ、もういっぺんアリをよく見ながら描いてみなさい」

こうしてできあがったのが最下段の絵であった。

子どもたちのアリの絵は、ぐっと実物に近くなった。頭と胸と腹。胸には六本の肢。頭から前を向いた触角。

大事だったのは子どもたちがみんなそれぞれに納得がいった上で、この絵を描いたことであった。

たいていの女の子たちは、こうしてできあがったアリの触角に、ちゃんとかわいらしいリボンをつけていた。

当時も今も、「とにかくまず実物を見せろ」というのが教育の原則であった。ぼくも努めてそうしていた。しかし庄司先生のこの一連のアリの絵の話を聞いて、目からうろこの気持ちだった。

人間は実物を見たからといって、おいそれとその実物が見えるものではないということが、しみじみよくわかったからである。

ぼくがとくに感動したのは、いちばん上段の絵を描きながら、頭と胴を描いたり消したりして迷っていた子の絵が、本物のアリを見せられたとき、先生の説明はまだなかったのに、＊忽然として頭と胸と

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

腹になっていたことであった。

〈日高(ひだか)　敏隆(としたか)「セミたちと温暖化(おんだんか)」より〉

＊忽然として＝たちまち。またたく間に。

(1) 庄司先生がこの文章のような方法で子どもたちに絵を描かせたのは、どんなことが大切だと考えていたからですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

子どもたち一人ひとりが［　　　　］で絵を描くこと。

［　　　］

(2) ――線「人間は実物を見たからといって、おいそれとその実物が見えるものではない」とありますが、それはなぜだと考えられますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　人間は実物よりも頭の中のイメージが大切だと考えるから。

イ　人間は思いこみや先入観にとらわれていることが多いから。

ウ　現代人は視力(しりょく)のよくない人が多いから。

エ　人間の目は細かい部分までよく見ることはできないから。

［　］

(3) 最後の段落の内容からどのようなことがわかりますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　迷いを断ち切らなければ、どんなことも成功しないということ。

イ　物事に迷わなければ、実物にたどり着くことはできないこと。

ウ　迷うことは物事を注意深く見ることにつながるということ。

エ　物事に迷ったときは実物を見ることで解決できるということ。

［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講・確認テスト

次の熟語の組み立てとして正しいものを、後からそれぞれ選びなさい。

1　乗車
2　強風
3　非常
4　未熟
5　市営

ア　上の字と下の字が主語・述語の関係になっているもの
イ　上の字が下の字を修飾する関係になっているもの
ウ　下の字が上の字の目的語になっているもの
エ　上に打ち消し語がついているもの

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講・ロシアパン①（物語文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「おい、お前の所のロシア人が、パンを売りに来たぞ。」

学校の帰りなど、①同級生たちが、わたしをこう言ってからかった。

「おれの所でないよ。家の裏(うら)だ。」

「おんなじじゃないか。」

「ちがうよ。」

すると、一人が、

「オイシイ　オイシイ　ロシアパン　カイマセンカ。」

そんなロシア人の言葉のまねをすると、大きい声で、みんなで笑った。わたしは、家の裏に引っこしてきたロシア人がうらめしくなった。

「オイシイ　オイシイ　ロシアパン　カイマセンカ。」

その日はきっと、思うように売れなかったのであろう。②学校から帰る小学生までつかまえて、本当にそう言いながら、ロシア人はパンを売っていた。

それを見ると、わたしは、自分がパンを売って歩いているような気さえした。そして、なんだかはずかしくなってくるのであった。

でも、売れなくて、商売がうまくゆかないと思うと、かわいそうな気もしてきた。

そんな日、家に帰って、

「ロシアパンは、今日は売れないよ。」

そう言うと、わたしの父や母は、

「そんなら、買ってこい。」

と、お金をくれるのだった。

〈高橋(たかはし)　正亮(せいりょう)「ロシアパン」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「同級生たちが、わたしをこう言ってからかった」について、次の問いに答えなさい。

㋐　どのようにからかったのですか。文中から一文でぬき出しなさい。

㋑　からかわれた「わたし」はどのような気持ちになりましたか。文中から十三字でぬき出しなさい。

(2)　――線②「学校から帰る小学生までつかまえて」について、次の問いに答えなさい。

㋐　この行動からロシア人のどのような様子がわかりますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　どうせパンは売れないだろうと、投げやりになっている。

イ　なんとかしてパンを売りたいと、あせっている。

ウ　日本人と早く仲良くなりたいと、気をつかっている。

エ　パンを売ることを心から楽しみ、はりきっている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

㋐　ロシア人のこの行動を見て、「わたし」はどのように感じましたか。次の文の□□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

まるで自分のことのように

□□□□□なった。しかし、パンが売れていないのだと思うと、ロシア人が

□□□□□になった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

〈「わたし」の家の裏に引っこしてきたロシア人は、「ロシアパン」と書いた箱を持ってパンを売り歩いていた。「わたし」は、そのことで同級生にからかわれていた。〉

時折食べるせいか、わたしにはパンほどおいしいものはないように思えた。わたしの家でも、みんなロシアパンが好きになった。

ハイカラなものは、何でもきらいな祖母まで、

「今日は、パン屋の売れ行きはどうだ。」

と、わたしにきいて笑った。パンを買ってこいということであった。

ロシアパンは、しだいに売れていった。ロシア人の家にまで、わざわざ買いに来る人さえ出てきた。

①わたしをからかった同級生たちまで、いつかパンが売り切れると、次には、わたしにたのんで買ってもらうくらいであった。

そして、わたしたちも、ロシア人たちと仲良しになった。

きりのむらさき色の花は、静かにさき、美しく見える。そのきり畑の前の空き地で、わたしの妹とロシア人の女の子はよく遊んでいた。学校へ行きたいと言っていたという女の子は、妹と歌を歌ったり、ゆうぎをしたりしていた。

わたしはまた、②男の子と仲良しになった。わたしといくつもちがわないようなまだ子どもなのに、もう箱をかたにかけて、父といっしょにパンを売って歩くのを見ると、なにか大人のように見えるのであった。けれども、商売を終えて家に帰ってくると、やはり子どもであった。わたしといっしょに、めんこ遊びなんかするのだ。

すっかり仲良しになったわたしたちは、わたしは店から果物を、男の子は自分の家からパンをくすねてきて、二人はこっそり取りかえっこをして、笑いながら食べ合った。男の子は、わたしの知らない外国の話を教えてくれ、わたしは、かれが町のどんな

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

大人よりもえらいような気がした。

〈高橋(たかはし)　正亮(せいりょう)「ロシアパン」より〉

(1)　「わたし」がロシアパンを大好きであることがわかる表現を文中から一文でぬき出し、初めの五字を答えなさい。

(2)　――線①「わたしをからかった同級生たちまで、いつかパンが売り切れると、次には、わたしにたのんで買ってもらうくらいであった」とありますが、同級生たちはなぜこのような行動をとったと考えられますか。文中の言葉を使って答えなさい。

(3)　――線②「男の子と仲良しになった」とありますが、「わたし」は男の子をどのように思っていましたか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

パンを売って歩く姿(すがた)は□見えたが、いっしょに遊んでいると、やはり□だと思った。

(4)　「わたし」が男の子を尊敬(そんけい)する気持ちが最もよくわかる部分を文中から二十三字でぬき出し、初めと終わりの四字を答えなさい。

初め

終わり

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講・確認テスト

次の説明に当てはまるものを選びなさい。

1　今の言葉で書かれた詩のことをなんといいますか。

ア　文語詩　イ　口語詩
ウ　自由詩　エ　定型詩

2　音数に決まりのない詩をなんといいますか。

ア　文語詩　イ　口語詩
ウ　自由詩　エ　定型詩

3　心情が中心の詩をなんといいますか。

ア　口語詩　イ　自由詩
ウ　叙景詩　エ　叙情詩

4　あるものを他のものにたとえて表す技法はなんといいますか。

ア　比ゆ　イ　くり返し法
ウ　体言止め　エ　対句法

5　似た調子の言葉を対照的に並べる技法をなんといいますか。

ア　比ゆ　イ　倒置法
ウ　対句法　エ　省略法

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講・ロシアパン②（物語文）

一 題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「おい、お前のところにスパイがいるぞ。」
と言った。
「おれのところにそんな者はいないよ。」
わたしがそう言うと、同級生たちがまた言った。
「いるじゃないか。お前の家の裏（うら）に。」
「あのロシアパンさ。あいつはスパイだ。」
まるであたりまえのことだというようにして言うのだった。
「スパイだかなんだか、分からないではないか。」
「スパイだよ。」
「なぜ？」
「大人だって、みんな言ってるぞ。」
「どんなスパイをしたんだ。」

わたしがロシアパンはスパイだと言わないのを見ると、みんなおどろいたようにして顔を見合わせた。
そして、同級生の一人が、
「こいつ、スパイの仲間だぞ。」
と言った。
「そうだ。」
「そうだよ。」
と、みんな、わたしがまるでスパイの本当の仲間のようなことを言った。そして、国のために悪いことをしたスパイに味方をするやつをこらしめてやろうというようにして、みんなでつめ寄ってくるのであった。今度はからかうのではなく、心からにくらしいというようにして、ののしるのだった。
わたしは、本当に、はらを立てていた。わたしは、だまって学校から帰りながら、あの人のいいロシア人たちが、スパイのはずはないと思った。けれども、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

あんなに大人たちまで言うのだから、半分は、どうだろうかと、考えたりしてくるのであった。

〈高橋（たかはし）正亮（せいりょう）「ロシアパン」より〉

(1) ――線「スパイだかなんだか、分からないではないか」とありますが、「わたし」はなぜこのように言ったのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

ロシア人たちのことを、□□□□□のようにスパイだと決めつけるのはおかしいと思ったから。

(2) ロシア人をスパイだとみとめない「わたし」に対し、Ⓐ同級生たちはどのような反応をしましたか。また、Ⓘ同級生たちの心情はどのように変わっていきましたか。Ⓐは文中から十七字でぬき出し、Ⓘは□□にあてはまる言葉を文中からぬき出しなさい。

Ⓐ □□□□□□□□□□□□□□□□□

Ⓘ □□ 気持ちになった。

(3) 「わたし」の気持ちはどのように変化していますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　不快→いかり→疑（うたが）い

イ　おどろき→悲しみ→いかり

ウ　疑い→悲しみ→後悔（こうかい）

エ　いかり→失望→悲しみ

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ロシア人たちは、とうとう①家をたたんで、町からはなれることになった。

身の回りの物を、大きな包みにして背負(せお)った、そのすがたを見ると、本当に住む所もなく、世界じゅうの遠い国々をさまよって歩く外国人という気がして、心からかわいそうに見えてくるのであった。

ロシア人たちは、別れのあいさつをしに、わたしの家へ来た。そして、

②「ワタシハ、スパイデハ、アリマセン。」

と、わたしの父に言った。

わたしの父は、えがおを向けると、

「いつまでも、元気でくらしてください。」

そう言った。

母は、果物を持ってきて、子どもたちにあげた。

ロシア人は、また③何度も礼を言いながら、みんなに大きな手であく手した。だれもがみなえがおなのに、少しさびしい別れのあいさつであった。

ロシア人の家が取りこわされると、こんなちっぽけな所に、あの四人の家族がいたのかと思うような小さな空き地ができた。

大きなきりの葉が、白い秋の日の光を受けてかさかさゆれると、なにかその辺がものさびしく見えるのであった。そして、あの夕べのおいのりの声や、静かに歌う賛美歌の声が、どこからか聞こえてくるような気がしてくるのであった。

わたしは、今でもパンを買うたびに、あのロシア人の家族を思い出す。

〈高橋(たかはし)　正亮(せいりょう)「ロシアパン」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) ――線①「家をたたんで、町からはなれることになった」ロシア人たちを見て、「わたし」はどのように感じましたか。文中の言葉を使って、十五字以内で答えなさい。

(2) ――線②「『ワタシハ、スパイデハ、アリマセン。』と、わたしの父に言った」ときと、――線③「何度も礼を言いながら、みんなに大きな手であく手した」ときのロシア人の気持ちとしてふさわしいものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 自分を信じてもらえないことに腹を立てる気持ち。
イ 自分を信じてもらいたいと強く願う気持ち。
ウ 自分が信じてもらえないはずはないと確信する気持ち。
エ 自分を信じてもらえたことをうれしく思う気持ち。
オ 自分は信じてもらえないだろうとあきらめる気持ち。

② ③

(3) ロシア人の家族がいなくなったあと、「わたし」はどのような気持ちになりましたか。文中の言葉を使って十字以内で答えなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講・確認テスト

次の説明に当てはまるものを選びなさい。

1　短歌は何音から成り立っていますか。

ア　三十一音　イ　三十二音
ウ　三十三音　エ　三十四音

2　俳句は合計何音ですか。

ア　十五音　イ　十六音
ウ　十七音　エ　十八音

次の季語の季節を選びなさい。

3　朝顔

ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

4　大根

ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

5　みかん

ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講・近代科学の父　ガリレオ・ガリレイ①（伝記）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「いったい、わたしに何を実験して確かめろというのですか。」

自分の研究したことを発表している学生が、あきれたような顔で言いました。

ここはイタリアのピサ大学です。今、物が落ちるときの速さについての議論（ぎろん）が行われているのです。そのころの大学では、学士や博士の資格を取ろうとする者は、大学の中の広場で、自分の研究について発表しなければなりません。発表の日には、やりこめてやろうとする者が、どっと、広場に集まってきます。それらの人々と議論をして、だれにも言い負かされなければ、合格ということになるのです。

「いいですか。すべての物は、この大地にふくまれている物でできています。だから、母である大地に帰ろうとするのです。重い物は、大地に帰ろうとする物がたくさん集まってできています。だから、軽い物よりも速く大地に帰り着くわけです。重い物は軽い物よりも速く落ちると、アリストテレスが書いていることは、もちろんごぞんじですね。」

その学生は、子供（こども）にでも教えるような調子で、ガリレオに話しました。

「いや、わたしには、アリストテレスが書いたその説が、疑問（ぎもん）なのです。アリストテレスが実験したという証こでもあるのですか。」

ガリレオの言葉に、広場に集まっていた教授や学生がおこり始めました。

「もう、そいつの質問なんか取り上げなくてもいい。次の問題に移れ。」

みんなはガリレオには構わず、次の問題の議論に

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

移っていきました。

しかし、ガリレオには、昔のえらい人が言ったことだからすべて正しいと信じこんでいるみんなの考えが、どうしてもなっとくできませんでした。

〈岩崎(いわさき)　明(あきら)「近代科学の父―ガリレオ・ガリレイ」より〉

(1) この場面で、学生は具体的に何について発表しているのですか。文中から十四字でぬき出しなさい。

□□□□□□□□□□□□□□

(2) ――線「その説」とは、どんな説ですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□は□□□よりも□□□□□という□□□□□□□の説。

(3) ガリレオは、広場に集まっていた人々とはちがう考え方をもっていました。その考え方について説明した次の文の□に入る言葉としてふさわしいものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

ガリレオは昔のえらい人が言ったことを、□と考えていた。

ア すべて正しいと信じこむのはおかしい

イ すべてまちがっていると思いこむのはおかしい

ウ すべて研究しつくされていると思うのは当然だ

エ すべて研究しなおすのはおかしい

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

　ガリレオは、ふりこを使って人の脈の速さを測る道具を発明したり、物の重心についての理論（りろん）を発表したりするなど、めざましい活やくを見せました。ガリレオの名はまたたくまにヨーロッパじゅうに広がり、第一級の天才科学者といわれるようになったのです。

　有名になったガリレオは、母校のピサ大学に二十五才というわかさで教授にむかえられました。しかし、ほかの教授のように、①昔のえらい学者の意見を頭から信じて学生に教えるというようなことはしませんでした。

「確かに②アリストテレスはえらい学者だ。だからといって、諸君（しょくん）は、ほんとうかどうかわからないことまでも信じる必要はない。」

「先生、まさか、アリストテレスの言っていることに、うそはないでしょう。」

　おどろいて聞き返す学生に、ガリレオはほほえみながら答えました。

「そうかね、アリストテレスは、重い物は軽い物よりも速く落ちると書いているが、わたしの観察では、これはまちがっている。」

「えっ。でも、重い物のほうが速く落ちるのは……。」

「わかりきったことだと言いきれるかね。だれもためした人はいないのに、アリストテレスの説ということだけで、信じこんではいないかね。」

「先生、アリストテレスの説を疑（うたが）うなんて、③空のお日様の数を疑うようなものだと思いますが……。」

　ガリレオは静かに言いました。

「諸君、正しいかどうかを決めるのは実験だ。わたしがそのまちがいを証明してみせよう。諸君の目で、どちらが正しいか見きわめなさい。」

　大学の中は大さわぎになりました。教授になりたての青年が、こともあろうに、「物理学の神様」といわれるアリストテレスのまちがいを証明してみせ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

るというのです。
〈岩崎（いわさき）　明（あきら）「近代科学の父―ガリレオ・ガリレイ」より〉

(1)　ガリレオが発明したものを、文中から十五字以上二十字以内でぬき出しなさい。

（解答欄：20マス）

(2)　――線①「昔のえらい学者の意見を頭から信じて学生に教えるというようなことはしませんでした」とありますが、ガリレオは何によって正しいことを教えようとしましたか。文中から二字でぬき出しなさい。

（解答欄：2マス）

(3)　――線②「アリストテレスはえらい学者だ」とありますが、そのためみんなから何とよばれていましたか。文中から六字でぬき出しなさい。

（解答欄：6マス）

(4)　――線③「空のお日様の数を疑うようなもの」とありますが、どのようなことをたとえた表現ですか。次の文の□□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

疑う意味もないほど□□□□□□□□を、疑うということ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講・確認（かくにん）テスト

次の季語の季節を選びなさい。

1　五月雨（さみだれ）
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

2　卒業
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

3　枯野（かれの）
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

4　たんぽぽ
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

5　せき
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講・近代科学の父　ガリレオ・ガリレイ②（伝記）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一六〇九年、ガリレオが四十五才のときのことです。オランダで望遠鏡が作られたといううわさを聞いて、ガリレオは、さっそく自分でも作り、天体の観測を始めました。

自作の望遠鏡で夜空をのぞきこんだガリレオは、①思わず息をのみました。そこには、ガリレオが今まで思いもしなかった天体の姿がありました。このときから、ガリレオの研究の中心は物理学から天文学へと移り、毎日のように夜空を観察して、新しい発見や研究を次々に発表していったのです。

ガリレオは、木星の四つの衛星を発見しました。観測を続けているうちに、多くの人々に信じられてきた②「地球はすべての天体の中心である。」という説が、ガリレオにはだんだん信じられなくなってきました。

「あそこに見える木星の四つの衛星は、木星の周りを回っている。すべての天体が地球を中心に回っているというのはまちがいだ。光りかがやく太陽こそが中心で、地球も木星も太陽の周りを回っているのではないだろうか。」

ガリレオは、観測したことをまとめた『星界の報告』という本を書き、かつてコペルニクスという天文学者が発表した「　　」という説（地動説）に賛同しました。さらに、いくつかの論文を発表して、地動説をくり返し支持しました。このことが、キリスト教のカトリック教会や、今までの伝統的な科学だけを信じている学者をおこらせ、③かれらから敵のようにくまれる原因を作ってしまったのです。

〈岩崎　明「近代科学の父―ガリレオ・ガリレイ」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「思わず息をのみました」とありますが、ガリレオが息をのんだのはなぜですか。文中の言葉を使って答えなさい。

(2)　――線②「『地球はすべての天体の中心である。』という説が、ガリレオにはだんだん信じられなくなってきました」とありますが、ガリレオは、何がどうなっている様子を見て、そのように思うようになったのですか。それぞれ文中からぬき出しなさい。

□が□様子。

(3)　□に入る言葉としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　木星は地球の周りを回っている
イ　木星はすべての天体の中心である
ウ　地球は太陽の周りを回っている
エ　地球はすべての天体の中心である

(4)　――線③「かれらから敵のようににくまれる原因」とありますが、ガリレオのどんな行動が原因となったのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□の□に□したこと。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

「それでも地球は動いている。」
　こう言って、自分にとっておそらく最後の仕事になると思われる著作(ちょさく)の構想を、ひそかに練り始めたやさき、またもや①ガリレオを打ちのめすような不幸がおそってきました。それは思いもかけぬ、むすめのマリアの急死でした。
　生きる支えとなっていた最愛のむすめを失ったガリレオは、うつろな目で［　　］すわりこんでいるようになりました。人々は、「さすがのガリレオもこれで終わりだろう。」とささやき合いました。
　マリアが死んでから数か月過ぎた、ある日のことです。今日もマリアのことを思いうかべてはなみだをぬぐっているガリレオの耳に、マリアの声が聞こえてきて、それがだんだん大きくひびき始めました。
「それでも地球は動いている。それでも地球は動いている……。」
　ガリレオは、はっと我(われ)に返りました。
「いつまでもこんなことでは、わたしをほこりだと言ってくれたマリアに申し訳(わけ)がない。」
　年老いた体をむち打つようにして、②夜昼となく机(つくえ)に向かうガリレオの姿(すがた)が再び見られるようになりました。
　こうして、一六三七年、七十三才のときに、物体の運動についての研究をまとめた『新科学対話』が、とうとう完成しました。
　この仕事を終えたころ、ガリレオの両方の目は見えなくなってしまいました。しかし、「実験や観測によって真実を見いだす」ガリレオの心の目が、多くのでしたちに受けつがれ、今日の人類の科学を築き上げてきたのです。

〈岩崎(いわさき)　明(あきら)「近代科学の父―ガリレオ・ガリレイ」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) ——線① 「ガリレオを打ちのめすような不幸」とは何でしたか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□□□□□ が □□ してしまったこと。

(2) □に入る言葉としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　ぼんやりと　　イ　ゆっくりと
ウ　のんびりと　　エ　しっかりと

□

(3) ——線② 「夜昼となく机に向かう」とありますが、ガリレオは何のために机に向かったのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□□□□□□□□□□ ということを証明するため。

(4) 現代の科学が築かれる上で、ガリレオのどのような精神が受けつがれてきましたか。「〜精神。」に続く形で、文中から十六字でぬき出しなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□□ 精神。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講・確認テスト

次の空欄（くうらん）に「性」「然」「的」「化」のいずれかを入れなさい。

1 進□
ア 性　イ 然　ウ 的　エ 化

2 私□
ア 性　イ 然　ウ 的　エ 化

3 当□
ア 性　イ 然　ウ 的　エ 化

4 消□
ア 性　イ 然　ウ 的　エ 化

5 歴□
ア 性　イ 然　ウ 的　エ 化

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講・ことわざ、慣用句

一、ことわざ

人々の生活の中から得られた教えや知識などを、短い言葉で表したもの。

例 出るくいは打たれる――出しゃばる人は、人から非難(ひなん)される。人よりすぐれた者は、みんなからうらまれる。

どんぐりのせいくらべ――どれもこれも、みんな同じ程度で、特にすぐれたものがいないこと。

① 似た意味のことわざ

次の例のことわざは三つとも、「どんな上手な人でも失敗することがある」という意味を表す。

例
かっぱの川流れ
弘法(こうぼう)にも筆のあやまり
さるも木から落ちる

② 反対の意味のことわざ

例
好きこそものの上手なれ――好きなことは熱心にするので、自然と上達する。
下手の横好き――下手なくせに熱心で好きである。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次のことわざの意味をあとから選び、記号で答えなさい。

(1) 負けるが勝ち

(2) 帯に短したすきに長し

(3) 灯台もと暗し

ア 身近なことはかえって分かりにくい。

イ ちゅうとはんぱで役に立たない。

ウ 争うより、相手に勝ちをゆずる方が、よい結果になる。

2 次のことわざと似た意味のことわざをあとから選び、記号で答えなさい。

(1) ねこに小判

(2) かっぱの川流れ

(3) 急がば回れ

(4) 弱り目にたたり目

ア 泣きっつらにはち

イ せいては事をしそんじる

ウ 弘法（こうぼう）にも筆のあやまり

エ 馬の耳に念仏

3 次のことわざと反対の意味のことわざをあとから選び、記号で答えなさい。

(1) かえるの子はかえる

(2) わたる世間に鬼（おに）はない

(3) あとは野となれ山となれ

ア とんびがたかを生む

イ 立つ鳥あとをにごさず

ウ 人を見たらどろぼうと思え

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4　次のことわざの意味と、それと似た意味のことわざをあとからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1)　ぶたに真珠（しんじゅ）　意味□・ことわざ□
(2)　かえるの子はかえる　□・□
(3)　三つ子のたましい百まで　□・□
(4)　月とすっぽん　□・□
(5)　あぶはち取らず　□・□

〈意味〉
ア　幼（おさな）いころの性質は、年をとっても変わらない。
イ　値打（ねう）ちのあるものも、人によっては役に立たない。
ウ　二つのものが非常にちがっている。
エ　子は親に似るものである。
オ　二つのものを同時に得ようとして、両方とも得られない。

〈似た意味のことわざ〉
カ　すずめ百までおどり忘（わす）れず
キ　二兎（にと）を追うものは一兎をも得ず
ク　うりのつるになすびはならぬ
ケ　ちょうちんにつりがね
コ　ねこに小判

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5 次のことわざと反対の意味のことわざをあとから選び、記号で答えなさい。

(1) たなからぼたもち

(2) 山椒（さんしょう）は小粒（こつぶ）でもぴりりとからい

(3) せいては事をしそんじる

ア 九死に一生を得る

イ 口はわざわいの門（かど）

ウ 枯（か）れ木も山のにぎわい

エ うどの大木

オ まかぬ種は生えぬ

カ 先んずれば人を制す

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２、慣用句
二つ以上の言葉が結びつき、特別な意味を表すもの。
①からだの部分に関係がある慣用句
例 頭が下がる――相手をうやまう。
目がない――非常に好きである。
口がかたい――秘密（ひみつ）を守って話さない。
手も足も出ない――どうすることもできない。
②その他の慣用句
例 水に流す――過去のことを忘（わす）れ、なかったことにする。
虫がいい――自分にばかり都合のいい考えをする。

---

1 次の慣用句が下の意味になるように、□にあてはまる漢字を［　］から選び、書きなさい。

(1) □を丸くする→おどろいて目を見開く。
(2) □をそろえる→みんなが同じことを言う。
(3) □を焼く→もてあます。
(4) □が痛（いた）い→欠点を言われ、つらい。
(5) □にどろをぬる→はじをかかせる。

［顔　目　耳　口　手］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 次の文には、慣用句が使われています。文の意味を考えて、□にからだの部分を表す漢字を書きなさい。

(1) 暴れまわる子どもには、ほんとうに□を焼いた。

(2) かれは、勉強ができることを□にかけている。

(3) 昨日の試験は難(むずか)しくて、□が立たなかった。

3 次の意味の慣用句をあとから選び、記号で答えなさい。

(1) 何度も聞かされ、うんざりする。□

(2) いいかげんにその場をごまかす。□

(3) 打ちとけて気楽につき合える。□

(4) たくさんの知り合いがいる。□

ア　耳にたこができる　　イ　顔が広い

ウ　お茶をにごす　　エ　肩を並(なら)べる

オ　さじを投げる　　カ　気が置けない

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 次の慣用句の表す意味をあとからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) のどから手が出る
(2) 虫がいい
(3) くぎをさす

ア　まちがいのないように、前もって念をおすこと。
イ　欲(ほ)しくてたまらないこと。
ウ　自分にばかり都合のよい考えをすること。
エ　手ごたえのないことのたとえ。

(1) □　(2) □　(3) □

5 次の文には、慣用句が使われています。文の意味を考えて、□に体の部分を表す漢字を書きなさい。

(1) うっかり□をすべらせて、計画を知られてしまった。
(2) 何度も現場へ□を運んで調べた。
(3) 君の力が必要だ。ぜひ、□を貸してほしい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講・確認テスト

次のことわざの空欄を埋めなさい。

1（　）もと暗し
ア　電気　イ　ライト
ウ　灯台　エ　電柱

2（　）が勝ち
ア　負ける　イ　勝つ者
ウ　急ぐ　エ　はやる

3（　）目にたたり目
ア　泣き　イ　弱り
ウ　痛い　エ　悲しい

4（　）はち取らず
ア　はち　イ　あぶ
ウ　ちょう　エ　虫

5（　）百までおどり忘れず
ア　がちょう　イ　くわがた
ウ　ちょう　エ　すずめ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講・文の組み立て

一、主語と述語

①主語……文の中で「何が」「だれが」にあたる言葉。

例　雨が　ザーザー　降る。
主語…雨が
兄は　クラスの　人気者だ。
主語…兄は

②述語……文の中で「どうする」「どんなだ」などにあたる言葉。

例　雨が　ザーザー　降る。
述語…降る
兄は　クラスの　人気者だ。
述語…人気者だ

2、主語と述語の関係

主語と述語は、文のほね組みになる。

①何（だれ）が—どうする…述語は主語の動作を表す。
例　姉が　運動場を　走る。

②何（だれ）が—どんなだ…述語は主語の様子を表す。
例　夕焼けが　美しい。

③何（だれ）が—何だ…述語は主語を断定・説明する。
例　父は　消防士だ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 **次の文の主語と述語をそれぞれぬき出しなさい。**

(1) 母が　弟に　ノートを　買った。

主語［　　］　述語［　　］

(2) 今年の　冬は　とても　寒い。

主語［　　］　述語［　　］

(3) 部屋に　入ると　ポスターが　ある。

主語［　　］　述語［　　］

2 **次の文の主語と述語をそれぞれぬき出しなさい。**

(1) 祖父は　とても　有名な　作家だった。

主語［　　］　述語［　　］

(2) わたしの　友人こそ　委員長に　ふさわしい。

主語［　　］　述語［　　］

(3) 学校の　屋上には　鳥の　巣が　いくつも　あった。

主語［　　］　述語［　　］

3 **次の文のほね組みの型をあとから選び、記号で答えなさい。**

(1) 新しい　校舎は　とても　きれいだ。［　　］

(2) あちらの　男の　人が　新任の　先生だ。［　　］

(3) 花子さんは　図書館で　よく　本を　借りる。［　　］

ア　何(だれ)が―どうする
イ　何(だれ)が―どんなだ
ウ　何(だれ)が―何だ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 **次の文のほね組みの型をあとから選び、記号で答えなさい。**

(1) ここから　見た　夕日は　とても　きれいだ。 □

(2) さっきの　地しんで　本だなが　たおれた。 □

(3) 祖父の　健康の　秘(ひ)けつは　毎日の　運動だ。 □

ア 何(だれ)が—どうする

イ 何(だれ)が—どんなだ

ウ 何(だれ)が—何だ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3、修飾語（しゅうしょくご）

修飾語は、文の中でほかの言葉をくわしく説明する言葉。ほかの言葉をくわしく説明することを修飾するという。

① 名前を表す言葉を修飾する

例　母が　大きな　皿を　買った。

② 動きを表す言葉を修飾する

例　山田先生は　車を　運転する。

一つの言葉に対して修飾する語が一つであるとは限らない。

例　年老いた　黒い　犬が　ほえている。

1　次の＝＝線の言葉が修飾している言葉はどれですか。――線部の中から選び、記号で答えなさい。

(1) 明日の　ア社会科の　イ授業で　ウパン工場に　エ行く。　［　］

(2) ア友達は　イ家で　大きな　ウ魚を　エ飼っている。　［　］

(3) ア母は　イおいしい　ウケーキを　たまに　エ作る。　［　］

(4) はりきって　ア早朝に　イ犬と　ウ散歩に　エ出かけた。　［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　次の――線の言葉を修飾（しゅうしょく）している言葉をぬき出しなさい。ただし、⑶⑷は二つぬき出しなさい。

⑴　友達と　難（むずか）しい　問題に　ちょうせんした。

⑵　雪の　日の　公園は　とても　静かだった。

⑶　二人の　弟たちと　野球の　試合を　見た。

⑷　昨日　わたしの　父が　アメリカから　帰国した。

3　次の＝＝線の言葉が修飾している言葉をぬき出しなさい。

⑴　この　店で　姉の　友達が　ひとりで　働いている。

⑵　その　美しい　歌声の　持ち主は　この　インコだ。

⑶　外国で　買った　かばんが　もう　こわれた。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 次の――線の言葉を修飾（しゅうしょく）している言葉をぬき出しなさい。ただし、二つ以上ある場合は、すべてぬき出しなさい。

(1) あちらの　大きな　白い　建物が　市の　美術館です。

(2) 夏休みの　宿題が　たくさん　ある。

(3) 昨日の　野球の　試合で　弟が　ひざを　ひどく　すりむいた。

(4) おじの　所有する　ビルで　ねずみが　大量に　発生した。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講・確認テスト

次の空欄に言葉を入れて慣用句を完成させなさい。

1　（　）が合う
ア　ぶた　イ　馬　ウ　牛　エ　犬

2　（　）が立たない
ア　歯　イ　手　ウ　足　エ　鼻

3　（　）が広い
ア　額　イ　耳　ウ　口　エ　顔

4　（　）が置けない
ア　心　イ　足　ウ　気　エ　手

5　（　）をすべらせる
ア　足　イ　手　ウ　口　エ　鼻

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講・ことばの種類

一、名詞（めいし）

ものや事がらの名前を表す言葉を名詞という。

次のような言葉も名詞の一種である。

・人や国などの名前…南さん、東京タワー、フランス　など

・数を表す言葉…一つ、二円、三人　など

次の例の――線部はすべて名詞。

例　木村先生の家から学校へ行くとちゅうに大きな公園がある。その公園の名前は、ニコニコ公園で、二本の高い木が目印だ。

1 次の中から名詞をすべて選び、記号で答えなさい。

ア　絵画　　イ　夕焼け　　ウ　しかし

エ　二人　　オ　白菜　　カ　百歳（ひゃくさい）

キ　すごく　　ク　にげる　　ケ　イタリア

コ　勉強　　サ　弁当　　シ　ベートーベン

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２、動詞（どうし）

動きや存在（そんざい）などを表す言葉を動詞という。動詞は言い切りの形のときウ段（だん）で終わる。

例　今から学校へ行く。

兄の部屋には新しいパソコンがある。

◆あとにつく言葉によって形が変わる。

例　行く→まだ学校には行かない。

ある→わたしの部屋にはピアノがあります。

２　次の文の中から動詞をすべて選び、言い切りの形で書きなさい。

(1) 早く起きたので、わたしはゆっくり歯をみがいた。

(2) かれは宇宙（うちゅう）人の存在を信じて、毎日、空をじっと見る。

(3) アメリカに行きたいが、飛行機に乗るのがこわい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3、様子を表す言葉

様子を表す言葉には、言い切りの形のときに「い」で終わるものと、「だ」で終わるものがある。

①「い」で終わる様子を表す言葉＝形容詞（けいようし）

例 入道雲をながめるのは楽しい。
井戸（いど）の水はとても冷たい。

◆あとにつく言葉によって形が変わる。

例 楽しい→今年の遠足は楽しくなかった。
冷たい→足が冷たければ、くつ下をはけばよい。

②「だ」で終わる様子を表す言葉＝形容動詞

例 君の話はいつもおおげさだ。
まりちゃんのいない教室は、いつもより静かだ。

◆あとにつく言葉によって形が変わる。

例 おおげさだ→姉はおおげさにおどろいた。
静かだ→静かな村に、タヌキが現れた。

---

3 次の言葉にあてはまるものをあとからすべて選び、記号で答えなさい。

(1) 名詞 ［　　　］

(2) 動詞 ［　　　］

(3) 様子を表す言葉 ［　　　］

ア 元気だ　イ 一点　ウ 三千円
エ 古い　オ 伝える　カ 必要だ
キ 発言　ク 知る

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 次の文の――線の言葉の種類をあとから選び、記号で答えなさい。

(1) 寒い ①夜には おでんが ②おいしい。

①□ ②□

(2) ①勉強する前に、部屋のそうじを ②始めた。

①□ ②□

(3) この ①川の ②流れは、とても ③ゆるやかだ。

①□ ②□ ③□

(4) ①二つの ②新しいボールが校庭に ③ある。

①□ ②□ ③□

ア 名詞（めいし）
イ 動詞
ウ 様子を表す言葉

5 次の文の――線の言葉の種類をあとから選び、記号で答えなさい。

(1) 試験の ①前日に ②のんきにテレビを見てはいけない。

①□ ②□

(2) ①速く ②走りたければ、手足を ③なめらかに動かすべきだ。

①□ ②□ ③□

(3) ①一人の ②有名なピアニストが ③イタリアから来日した。

①□ ②□ ③□

ア 名詞
イ 動詞
ウ 様子を表す言葉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講・確認（かくにん）テスト

次の空欄（くうらん）に言葉を入れて慣用句を完成させなさい。

1　（　）であしらう
ア 目　イ 手　ウ 鼻　エ 足

2　（　）を長くする
ア 足　イ うで　ウ 鼻　エ 首

3　のどから（　）が出る
ア 目　イ 手　ウ 足　エ うで

4　（　）をなでおろす
ア 胸　イ ひざ　ウ 腹　エ こし

5　（　）に火が付く
ア つめ　イ 足　ウ しり　エ うで

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講・バイオリンと歩むなかから（随筆）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

プラハの音楽アカデミーに入って、初めての実技（私にとってはバイオリン）の試験があったときのこと。それは、立派なシャンデリアがいくつも輝く小ホールで行なわれた。正面に白髪の教授陣がズラッと居並ぶ客席を前にステージに立った私は、最大の準備を重ねてのぞんだにもかかわらず、やはり百パーセント自分の実力を発揮できず、我ながらがっかりした。私は、友人たちに「どうだった？」ときかれるたびに「うまく弾けなかった」と繰り返し、「あなたは？」と相手にきくと、みんなが「私はよく弾けたと思う」と答えるので、ますます悲しくなってしまった。

休憩時間に、私はバッタリ自分の先生と会ってしまった。この時ほど私は「穴があったら入りたい」と自分をみじめに思い、と同時に、熱心に指導してくださった先生には「①<u>申しわけない</u>」と思ったこともなかった。私は息もつかずに、ありとあらゆる言葉をさがして先生に謝ろうとした。ところがそんな私を見て先生はびっくりし、途中で言葉をさえぎると、こういわれた。「おめでとう。あなたはとても良い点をとれましたよ。そして、自分がへたに弾けてしまったなどと決して人前でいってはいけません。自分の欠点は自分がいちばん良く知っているのですし、知っていなくてはならないのです。でも、他人に向かってそれをいいふらすことは、何の役にも立ちません。さあ堂々と、私は立派に弾けました、といってごらんなさい。」と。②<u>日本では、他人の前で自分を*卑下していうことが美徳とされている</u>。それは、人間のおごる心を戒めるためにあるの

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

だと思うが、その反面、もし失敗しても、初めから謝ってしまえば許される、という甘(あま)えがあるとはいえないだろうか。たとえ失敗をしても、その全責任を自分が背(せ)おって、他人には絶対に泣き言などいわない、というヨーロッパ人の考え方は、私たちよりずっと自分自身にとって厳(きび)しいことなのだ、とそれ以来、私は思うようになった。

〈黒沼(くろぬま)　ユリ子(こ)「バイオリンと歩むなかから」より〉

＊卑下する＝自分が人よりもいやしいとか、おとっているとか思っている様子。

---

(1)　――線①「申しわけない」とありますが、なぜそう思ったのですか。ふさわしい理由を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　先生が熱心に指導してくださったのに、ステージで自分の実力を発揮できなかったから。

イ　みんなが「よく弾けたと思う」と答えるのを聞いて、だんだん自信をなくしてしまう自分がなさけなかったから。

ウ　先生の熱心な指導にもかかわらず、最大の準備を重ねなかったために、ステージで思うように弾けなかったから。

エ　ありとあらゆる言葉を探(さが)して先生に謝ろうとしたのに、先生に通じず、途中でさえぎられてしまったから。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(2)　――線②「日本では……美徳とされている」について、次の問いに答えなさい。

㋐　日本でそのように考えられているのは、「おごる心を戒める」と同時に、どんな考えがあるからだと筆者は思っていますか。文中の言葉を使って答えなさい。

㋑　ヨーロッパ人は自分の失敗についてどんな考え方をしていると筆者は思っていますか。「……という考え方。」に続く形で、文中からぬき出しなさい。

という考え方。

㋒　㋑を知って筆者はどう思うようになりましたか。「……と思った。」に続く形で、文中の言葉を使って答えなさい。

と思った。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講・確認（かくにん）テスト

次の中から主語をぬき出しなさい。

1　ア今日の　イばんごはんは　ウ牛肉の　エステーキだ。

2　ア姉が　イ運動場を　ウゆっくり　エ走っている。

3　ア橋に　イかかる　ウ夕焼けが　エ美しい。

4　アぼくの　イ母は　ウ学校の　エ先生だ。

5　ア地しんで　イたおれてしまったのか、ウ私たちの　エ本だなが。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講・支え合う仲間（論説文）

一 題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1 君たちの周りに友達がいる。

2 いつも楽しく遊んでくれる友達がいる。心を許して何でも話し合える友達がいる。困ったとき、すぐ相談にのってくれる友達がいる。くじけそうになったとき、声をかけてはげましてくれる友達がいる。うれしいとき、いっしょに喜んでくれる友達がいる。悲しいことに出あったとき、やさしくなぐさめてくれる友達がいる。くやしいと思ったとき、いっしょに腹を立ててくれる友達がいる。

3 このように、君たちの周りには、いっぱい友達がいる。いっぱいの友達のなかで生きているからこそ、ときには争いごとがある。友達はいつも自分と同じ考えをもっているとはかぎらない。自分と同じことに心を動かすとはかぎらない。自分と同じことをしたがっているとはかぎらない。自分とちがう意思や感情をもっている。だから、自分の思いどおりにならないことがある。感情的になってむしょうに反発してみたくなることがある。友達なんかいないほうがいいとさえ思うことがある。みんなのなかにいることがやりきれなくなるときがある。

4 自分一人だったら、自由に何でも思いどおりにできるかもしれない。笑いたくなったら笑えばいい。歌いたくなったら歌えばいい。悲しくなったら、だれにえんりょせずになみだを流せばいい。つかれて休みたくなれば、いつでも自由に休むことができるかもしれない。食べたくなったら、腹いっぱい食べることができるかもしれない。じゃまする人はいない。自由気ままにふるまうことが

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

できる。

5　でも、ほんとうに独りぼっちだったら、どんなに上手に歌えても、「上手だね。」と、歌を聞いてくれる人はいない。うれしいことがあっても、いっしょに喜んでくれる人もいない。悲しいことがあっても、悲しい思いを打ち明ける相手もいない。困ったことがあっても、相談する人はどこにもいない。がんばって働いても、「ご苦労様。」と、声をかけてもくれない。おいしいごちそうを食べても、「おいしいね。」と、言葉をかわす人もいない。どんなに急な坂道を登っても、「よくがんばったね。」と、ほめてくれる人もいない。

6　友達がいなければ、みんなで仕事を分け合うことはできない。力を合わせて働くことはできない。はげまし合うこともできない。学び合うこともできない。うれしさも、悲しみも、みんな自分の胸（むね）におさめておくしかない。話し合う自由も、はげまし合う自由もない。独りぼっちは自由のようだが、ほんとうは不自由なのだ。

7　やっぱり、みんなのなかで、みんなと生きているほうが楽しく張り合いがある。少しがまんしても、ちょっぴり不自由に思えても、みんなと過ごすほうがいい。

〈田宮（たみや）　輝夫（てるお）「支え合う仲間」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) ――線「ときには争いごとがある」のはなぜですか。その理由をまとめた次の文の［　］a～dにあてはまる言葉を、文中からそれぞれぬき出しなさい。

友達は自分と［a］意思や感情をもっているので、自分の思いどおりには［b］ことや、［c］になって［d］してみたくなることもあるから。

a［　　　　］
b［　　　　］
c［　　　　］
d［　　　　］

(2) **6**段落の中で、筆者の考えをまとめている一文をぬき出しなさい。

［　　　　］

(3) 筆者の意見を述べている段落はどこですか。段落番号で答えなさい。

［　　　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講・確認（かくにん）テスト

次の中から述語をぬき出しなさい。

1　ア ぼくは　イ 友だちと　ウ 算数の　宿題に　エ とりかかった。

2　ア 姉と　イ いっしょに　ウ 映画を　エ 見た。

3　ア 昨日　イ 父が　ウ 旅行から　エ 帰った。

4　ア 美しい、　イ 早起きして　ウ 見る　エ 朝焼けは。

5　ア 母は　イ はりきって　ウ お弁当を　エ 作った。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講・ぼくの世界、きみの世界（論説文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1　わたしたちは、一人一人別々の心をかかえ、相手のことなどわからないまま生きていくしかないのだろうか。［　A　］、人と人は、永遠に理解し合えないのだろうか。

2　そうではない、とぼくは思う。

3　例えば、きみと友達が、好きなアニメについて夢中になって話しているとしよう。きみが、「あの登場人物は、こういうところがかっこいいよね。」と言うと、友達も、「そうそう、それにこういうところもいいよ。」と言葉を返してくる。きみが、「前回の話はおもしろかったよね。」と言えば、友達は、「あそこがよかったよね。」と返してくるだろう。そのように、二人で「言葉のキャッチボール」をしているとき、きみは、友達が、きみと同じようにこのアニメが大好きで、うれしくて気持ちをはずませていることを、疑いはしないだろう。

4　もちろん、相手がうれしがっているふりをしている可能性もあるが、二人で夢中になって話をしてもりあがっている時に、そのような疑いをもつことはない。疑いをもつとしたら、作り笑いの表情が見えたり、言葉のはしばしから、「あれ、変だな。無理しているみたいだ。」と感じたりした時だけだ。

5　また、《　　　　》をしていると、自分と相手が同じように感じているところだけでなく、それぞれの感じ方のちがいに気づかされることもある。

6　しかし、これは、おたがいがわかり合えない、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ということではない。むしろ、おたがいのちがいがわかった、ということなのだ。［B］、①もう少し相手の気持ちを知りたくなったら、「どうして？」とか「どんな感じ？」というふうにたずねてみればいい。たずね合うことで、わたしたちは少しずつ、おたがいの気持ちの細かいところもわかっていく。

7 おたがいの心を百パーセント理解し合うことは不可能だとしても、言葉や表情をやりとりすることによって、わたしたちは、それなりに心を伝えたり受け取ったりしているのである。

〈西(にし)　研(けん)「ぼくの世界、きみの世界」より〉

---

(1) 《　　》にあてはまる言葉を、文中から十字でぬき出しなさい。

(2) **3**段落(だんらく)のアニメのおもしろさの例は、筆者が何を説明するために用いたものですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 子どもはアニメが好きだということを説明するため。

イ 人と人が永遠に理解し合えないことはないことを説明するため。

ウ 夢中になれるものを見つけることの重要性を説明するため。

エ 相手の作り笑いを見ぬくための方法を説明するため。

［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)　□A・Bにあてはまる言葉を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　だから　**イ**　なぜなら　**ウ**　つまり
エ　しかし　**オ**　あるいは

A □　B □

(4)　――線①「もう少し相手の気持ちを……たずねてみればいい」とありますが、なぜですか。その理由が書かれている一文を探し、「～から。」に続く形で、初めと終わりの五字を答えなさい。（、や。をふくまない。）

□□□□□～□□□□□から。

(5)　この文章で、筆者が最も伝えたかったことは何ですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　人は、自分の思いを伝え合うために、言葉や表情をやりとりする、ということ。
イ　人は、言葉を用いることで、おたがいの思いを完全に理解し合うことができる、ということ。
ウ　人は、自分の思いをだれかにわかってもらうことは決してできない、ということ。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講・確認テスト

次の二重傍線部の言葉を修飾している修飾語を選びなさい。

１　僕はア　サッカーのイ　試合でウ　ひざをエ　すりむいた。

２　祖母のア　家でイ　たくさんのウ　チューリップが咲いたエ。

３　黒いア　プードルが　母のイ　ひざのウ　上でエ　寝ていた。

４　ようへいくんのア　家は　あのイ　青いウ　建物ですエ。

５　父にア　もらったイ　えんぴつがウ　どこにもエ　ない。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講・豊かさのゆくえ（説明文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本のモノづくり産業が世界チャンピオンになるにあたっては、アメリカやイギリスの年老いた元チャンピオンを、次つぎと打ち負かさねばなりませんでした。審判の見守るリング上で、人一倍の練習できたえた日本選手が相手をノックアウトした、とみる人もいるでしょう。また逆に、アメリカやイギリスの元チャンピオンが、日本の若手選手に道をゆずってくれたにすぎない、とみる人もいます。

どういう世界であれ「①後進に道をゆずる」という思いやりの風習があるからこそ、世代の交代がスムーズにかなえられるのだし、またモノづくりの現場に若い活力がみなぎるのです。人間の場合には「寄る年波には勝てない」などといわれるように、個人差はあるものの、体力そして知力とも、年齢とともに確実に衰えてきます。だからこそ、会社や官庁には定年制がしかれていますし、また、来るべき高年齢化社会をどうするか、という問題が深刻に問われたりもするのです。

一国の経済的な力もまた、国の年齢とともに衰えたりはしないのでしょうか。もし日本のモノづくり産業の強さが永久につづくならば、韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、中国などの「後進」国・地域はいったいどうなるのでしょうか。いつまでたっても、これら諸国・地域は日本の＊後塵を拝しつづけなければならないのでしょうか。

繊維、自動車、鉄鋼、造船などの分野で、日本が②世界選手権を制覇したのは、七〇年代前半のことでした。なぜ日本の製造業がさまざまな産業分野でチャンピオン・ベルトを手にすることができたかと

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

いうと、一つには、日本の労働力が相対的に安かったこと、すなわち日本人労働者の給料がアメリカ人やイギリス人のそれにくらべて安かったことがあげられます。ロボットによる生産の自動化が進む以前には、モノをつくるには人手が欠かせませんでした。原価に占(し)める労働賃金(ちんぎん)の比率が高いモノづくりにとっては、まじめによく働いてくれる人手を安く使えることが、国際競争に勝ちぬくための、きわめて有利な条件となるのです。欧米(おうべい)諸国に比べての低賃金こそが、六〇年代末の日本の製造業の躍進(やくしん)ぶりを説明する、第一の理由なのです。

　もう一つの理由は、日本の製造業のもつ高い技術力です。六〇年代の日本の技術者の課題は、新しい技術を開発するというよりも、欧米に「追いつき追いこせ」すなわち欧米のモノづくりを忠実(ちゅうじつ)にまねることだったのです。こうしたタイプの技術開発は、受験生が教科書や参考書の内容を丸暗記して、入学試験の問題を解くのに似ています。いってみれば、「追いつき追いこせ」型の技術開発は、③日本の得意技のひとつだったのです。こうして、いったん技術的な格差が埋(う)められてしまうと、安い［　　］という＊メリットが生きてくるのです。

　七〇年代も後半にはいると、日本製の自動車や電化製品の性能のよさが際(きわ)だつようになりました。「追いつき追いこせ」を卒業した日本の技術者は、独創的(どくそうてき)な製品改良技術を次つぎと生みだすようになったのです。たとえば自動車のガソリン一リットルあたりの走行距離(きょり)を伸(の)ばす、冷蔵庫(れいぞう)の消費電力を大幅(おおはば)に削減(さくげん)する、半導体の記憶(きおく)容量を増やす、ビデオやファクシミリの値段(ねだん)を下げる、などなどの改良が、日本人技術者の手によって相次いで成しとげられたのです。

〈佐和(さわ)　隆光(たかみつ)「豊かさのゆくえ」より〉

＊後塵を拝す＝後(おく)れをとる。

＊メリット＝利点、有利なこと。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「後進に道をゆずる」とありますが、これがスムーズに行われるための社会制度の例を、文中から漢字三字でぬき出しなさい。

(2)　――線②「世界選手権を制覇した」とありますが、それが成しとげられた理由を二つ、それぞれ二十字以内で答えなさい。

(3)　――線③「日本の得意技のひとつ」の具体的な内容を、文中から十七字でぬき出しなさい。

(4)　□にあてはまる言葉を文中から三字でぬき出しなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(5)　本文の内容としてふさわしくないものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　日本の製造業は、七〇年代前半にアメリカやイギリスを追いぬいて世界一になった。

イ　製造業が国際競争に勝ちぬくためには、安い労働力というものが有利な条件となる。

ウ　かつてアメリカやイギリスにおける労働の賃金は、日本のそれにくらべて安かった。

エ　日本の産業が世界一になったのは、イギリスなどが日本に道を明(あ)け渡(わた)したという見方もある。

□

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講・確認テスト

次の中から名詞でないものを選びなさい。

1　ア　二人　イ　東京　ウ　でも　エ　算数

2　ア　見る　イ　ねこ　ウ　羊　エ　かえる

3　ア　理由　イ　こと　ウ　時　エ　動く

4　ア　はなし　イ　動き　ウ　すごく　エ　走り

5　ア　大きさ　イ　喜び　ウ　美しさ　エ　うれしい

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講・古典

１、古典とは

古い時代に書かれ今に伝えられる、すぐれた作品のこと。日本で書かれたものを古文、中国で書かれたもの（またはそれをまねて日本で書かれたもの）を漢文という。

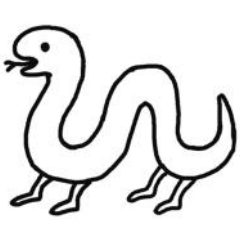
２、古典作品を知ろう

①　古文―枕草子（清少納言）

「枕草子」は、今から千年ほど前の平安時代に、清少納言によって書かれた随筆。宮中でのできごとや自然について思うことなどが、作者の独自の感性でつづられている。

②　漢文―蛇足

この漢文は、「蛇足」という故事成語のもととなった話である。「蛇足」は、余計なものやむだな行いを意味する。



©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の古文と意味を読んで、あとの問いに答えなさい。

【古文】

春はあけぼの。やうやう(ようよう)白くなりゆく山ぎは(わ)、すこしあかりて、紫(むらさき)だちたる雲のほそくたなびきたる。

夏は夜。月のころはさらなり、やみもなほ(お)、蛍(ほたる)の多く飛びちがひ(い)たる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもを(お)かし。雨など降(ふ)るもを(お)かし。

秋は夕暮(ぐ)れ。夕日のさして山の端(は)いと近(ちか)う(ちこう)なりたるに、烏(からす)の寝(ね)どころへ行くとて、三(み)つ四(よ)つ、二つ三つなど、飛びいそぐさへ(え)あは(わ)れなり。まいて雁(かり)などのつらねたるが、いと小さく見ゆるはいとを(お)かし。日入りはてて、風の音、虫の音(ね)など、はたいふ(う)べきにあらず。

冬はつとめて。雪の降りたるはいふ(う)べきにもあらず、霜(しも)のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭(すみ)もて渡(わた)るもいとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶(ひをけ)(おけ)の火も白き灰(はひ)(い)がちになりてわろし。

〈清少納言(せいしょうなごん)「枕草子(まくらのそうし)」より〉

【意味】

春は夜明けがよい。だんだん白くなっていく山ぎわの空が、少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいているのがよい。

夏は夜がよい。月の出ているころは言うまでもなく、やみ夜でもやはり、蛍が多く飛びかっているのはよいものだ。また、ほんの一つ二つと、かすかに光りながら飛んでいくのもおもむきがある。雨などが降っているのもおもむきがある。

秋は夕暮れがよい。夕日が照って山のはしにたいそう近づくころ、からすがねぐらへ帰ろうとして、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三つ四つ、二つ三つと、せわしく飛んでいくのさえも、心がひかれる。まして雁などが連なって飛んでいくのが、大変小さく見えるのは、とても風情（ふぜい）がある。日がしずんでしまってから、風の音や虫の音が聞こえるのは、また言うまでもなくおもむきがある。
　冬は早朝がよい。雪の降った朝は言うまでもなくすばらしい。霜が真っ白く降りているのもよい。また、そうでなくてもたいそう寒い朝に、火を急いでおこして、炭を部屋へ持ち運ぶのも、冬の朝にとても似つかわしくてよい。昼になって寒さがゆるんでいくと、火ばちの火も白い灰ばかりになっていって、みっともない。

---

(1) 作者がよいと思っている時間帯を、季節ごとに【意味】の文中からぬき出しなさい。

春 [　　　]
夏 [　　　]
秋 [　　　]
冬 [　　　]

(2) 作者があまりよく思っていないのは、冬のどのようなことですか。次の文の□にあてはまる言葉を、【意味】の文中からぬき出しなさい。

昼になって寒さが □□□□ いくと、
火ばちの火も □□□□□□ に
なって □□□□□□ こと。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【漢文】

*楚(そ)に祠(まつ)る者あり。その舎人(しゃじん)(しゃ)に卮酒(ししゅ)(しゅ)を賜(たま)ふ(う)。舎人相謂(あひい)(い)ひ(い)て曰(い)はく(わ)、「数人これを飲まば足らず、一人これを飲まば余りあり。請(こ)ふ(う)地に畫(ゑが)き(え)て蛇(へび)を成し、まづ(ず)成る者酒を飲まん。」と。一人の蛇まづ(ず)成る。酒を引きてまさに飲まんとす。すなは(わ)ち左手に卮を持ち、右手に蛇を畫きて曰はく(わ)、「われよくこれが足をなさん。」と。いまだ成らざるに、一人の蛇成る。その卮を奪(うば)ひ(い)て曰はく(わ)、「蛇はもとより足無し。子(し)いづ(ず)くんぞよくこれが足をなさん。」と。つひ(い)にその酒を飲む。蛇の足をなす者、つひ(い)にその酒を亡(うしな)へ(え)り。

〈劉向(りゅうきょう)「戦国策」より〉

*楚＝昔の中国の国名。

楚の国に、祭りを行う人がいた。その人が召使(めしつかい)に①杯(さかずき)に入った酒をあたえた。すると召使たちは相談して、「数人でこれを飲んだら足りないが、一人で飲めば十分すぎるほどある。地面に蛇の絵をかき、最初にかき上げた者がこの酒を飲むことにしよう。」と言った。一人の蛇がまずできあがり、酒を引き寄せ飲もうとした。そして、左手に杯を持ち、右手で蛇をかきながら、「わたしはこの蛇に足をかくことだってできる。」と言った。その足がかき上がらないうちに、もう一人の蛇ができあがった。そして杯をうばい、「蛇にはもともと足はない。あなたはどうしてありもしない蛇の足をかくことができるのだ。」と言った。蛇に足をかいた者は、②とうとう酒を飲むことはできなかった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) ――線①「杯に入った酒」は、どのくらいの量でしたか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□で飲むには少ないが、□□で飲むなら十分な量。

(2) ――線②「とうとう酒を飲むことはできなかった」とありますが、それはなぜですか。文中の言葉を使って答えなさい。

□

(3) この話から生まれた「蛇足（だそく）」という故事成語の意味を表している絵として正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア

イ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ウ

エ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講・確認テスト

次の傍線部の品詞として、正しいものを選びなさい。（活用されているものもあります。）

1　のんきな
ア　名詞　イ　動詞
ウ　形容詞　エ　形容動詞

2　走る
ア　名詞　イ　動詞
ウ　形容詞　エ　形容動詞

3　早く
ア　名詞　イ　動詞
ウ　形容詞　エ　形容動詞

4　一時
ア　名詞　イ　動詞
ウ　形容詞　エ　形容動詞

5　起きて
ア　名詞　イ　動詞
ウ　形容詞　エ　形容動詞

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十二講・愛を運ぶ人　マザー＝テレサ①（伝記）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

テレサは、一九一〇年に、現在のマケドニアの首都であるスコピエという町に生まれました。

小さな薬屋を営む両親のもとに、三人きょうだいの次女として生まれたのですが、四才のとき、父親にこんな質問をしたことがあります。

「お父さん、うちには貧しい人に効くお薬は、売っていないの。」

すると、父親はテレサにこう答えました。

「貧しい人、困(こま)っている人に効く薬はまだないんだよ。おまえが、そういうお薬を発明してくれると、うれしいね。」

そのテレサは、十二才のとき、一冊(さつ)の本を読みました。それは、十二世紀のイタリアに生まれた、神に仕える修道者フランシスコについて書かれた本です。貧しい人や病気の人、特に、その当時流行していたハンセン病のかん者のために、献身(けんしん)的に奉仕(ほうし)したフランシスコの文章にふれたとき、テレサは心にちかったのです。

わたしも、自分だけの楽しみや幸せのために生きるのではなく、フランシスコのように、すべての人々を愛し、神に一生をささげる生き方をしよう、と。

十八才になったテレサは、修道院に入り、インドのカルカッタにわたりました。そして、二十一才で正式の修道女になりました。その後、修道院の経営する女学校の先生となり、三十代には校長も務めることになったのです。

〈千葉(ちば)　茂樹(しげき)「愛を運ぶ人　マザー＝テレサ」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) テレサはいつ、どこで生まれましたか。それぞれ答えなさい。

いつ

どこで

(2) ——線「一冊の本」について、次の問いに答えなさい。

㋐ だれについて書かれた本でしたか。名前を答えなさい。

㋑ この本を読んだあとにテレサが決心した内容を表している部分を文中から一文でぬき出し、初めの五字を答えなさい。（、や。も一字と数えます。）

(3) 三十代になったテレサの職業を、文中の言葉を使って六字で答えなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一九四七年、インドの独立の際、混乱の中でカルカッタは破かいされ、街には、家を失った人々や、うえた人、病気の人々が、あふれ出ました。同じ人間なのに、家族からも見捨てられ、道ばたで死んでいく貧しい人々――テレサは、この情景を見て、①もうじっとしていられない気持ちにかられたのです。

三十八才で校長の仕事をやめると、テレサは、貧しい人々の街へと入っていきました。そして、まず、スラムの子どもたちのための学校や、孤児の家を作り始めたのです。そのテレサのもとには、十二名の修道女たちが次々にかけつけ、その仕事を手伝いました。

一九五二年の真夏の暑い日のことでした。カルカッタの八月は、焼けつくような太陽が照りつけ、風がありません。お昼を過ぎると、あまりの暑さに、街の中は人通りもなく、死んだようになります。

②今、そのカルカッタの中央駅に向かって、テレサが歩いています。あるところに、大事な相談をするために行こうとしていたのです。

ところが、駅近くの広場にさしかかったところで、③テレサは思わず足を止めました。道ばたに、一人のおばあさんが横たわり、死にかけているではありませんか。道を行く人は、だれも見向こうともしません。

「おばあさん、しっかりして。」

テレサは、とっさにおばあさんに声をかけると、呼吸と脈を確かめました。おばあさんは、まだかすかに息をしています。生きているのです。でも、このままではまもなく死んでしまうのは確かです。

〈千葉　茂樹「愛を運ぶ人　マザー＝テレサ」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「もうじっとしていられない気持ち」について、次の問いに答えなさい。

㋐　このような気持ちになったテレサは、何をしようと思ったのですか。次の□に入る言葉を考えて五字以内で答えなさい。

貧しい人々を□と思った。

㋑　㋐のように思ったテレサは、初めに何をしましたか。具体的に書かれている部分を文中からぬき出しなさい。

(2)　――線②「今」とは、いつですか。文中から十二字でぬき出しなさい。

(3)　――線③「テレサは思わず足を止めました」とありますが、なぜですか。その理由としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　大事な相談をする約束がなくなってしまったから。

イ　戦争でカルカッタの街が破かいされていたから。

ウ　道ばたが死んでいく貧しい人々であふれていたから。

エ　道に死にかけたおばあさんが横たわっていたから。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十二講●確認テスト

次の傍線部の品詞として、正しいものを選びなさい。（活用されているものもあります。）

1 見たい
ア 名詞　イ 動詞
ウ 形容詞　エ 形容動詞

2 田中さん
ア 名詞　イ 動詞
ウ 形容詞　エ 形容動詞

3 着ていた
ア 名詞　イ 動詞
ウ 形容詞　エ 形容動詞

4 正しかった
ア 名詞　イ 動詞
ウ 形容詞　エ 形容動詞

5 静かだろう
ア 名詞　イ 動詞
ウ 形容詞　エ 形容動詞

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十三講・愛を運ぶ人　マザー＝テレサ②（伝記）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

街の中には、何日も、食べ物もなく、病気のままでたおれ、だれからもやさしい声一つかけられずに、苦しみにたえている人たちがあふれていました。その全部を救済（きゅうさい）することは、すぐにはできません。ですから、［　　］と思われる人から順番に、修道女たちは運び続けたのです。そして、第一日目だけで、三十人近い病人が集められました。

長い長い間、路上にねたり起きたりしてきた貧しい人々は、このときから、①安心して体を休める場所があたえられたのです。

でも、その日運びこまれた病人のなかには、夕方になって、静かに息を引き取ったベンガル人もいました。

「ありがとう。」

そのベンガル人は、死んでいくとき、一言そう言って、ねむりについたのです。そのそばには、修道女が、最後のしゅん間まで手をにぎりしめ、はげまし続けていたのでした。もし、このベンガル人が、この休けいの家に運ばれなかったとしたらどうでしょうか。②どんな最期（さいご）をむかえたでしょうか。

みなさんのなかには、どうせ助からない、死にかけている人を助けようとしても、そんなことはむだなことだと考える人がいるかもしれません。カルカッタでは、毎日のように、道ばたやスラムで、おなかをすかした人や病気の人が死んでいきました。一人や二人を助けてもしかたがないと思う人もいるでしょう。

でも、③このときテレサが考えたことは、少しちがいます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

わたしたち人間の本当の不幸は、貧しいことや、病気や空腹（くうふく）で死ぬことではない。本当に不幸なことは、貧しかったり病気だったりするために、だれからも相手にされないことだ。みんなから見捨てられて、さびしい思いに追いやられることが、いちばんつらい不幸なことだ。そうテレサは考えたのです。

〈千葉（ちば）　茂樹（しげき）「愛を運ぶ人　マザー＝テレサ」より〉

(1) □に入る言葉としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　いちばん貧しく、いちばん苦しんでいる

イ　とても貧しいけれども、体はまだ健康である

ウ　貧しくはないけれども、病気で苦しんでいる

エ　いちばん豊かで、お金を持っている

□

(2) ――線①「安心して体を休める場所」とは、どこですか。文中から五字でぬき出しなさい。

□□□□□

(3) ――線②「どんな最期をむかえたでしょうか」とありますが、考えられる「最期」を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　家族みんなに看取（みと）られる、おだやかな最期。

イ　だれからも声一つかけられない、孤独（こどく）な最期。

ウ　テレサにしか気づかれない、ひそやかな最期。

エ　修道女がはげまし続けてくれる、幸せな最期。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(4)　――線③「このときテレサが考えたこと」を説明した次の文の□□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

本当の不幸とは、貧しさや□□のせいで

みんなから見捨てられ、□□□□□

□□□□□□□□ことである。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

貧しい人や、病気の人、弱っている人たちに向かって、死んでいく最後の最後まで、手を差しのべることが、どんなにその人を幸せにするかしれないのです。今死にかけている人であっても、
「あなたには、もっともっと生きてほしい。あなたも、この世に望まれて生まれてきた、たいせつな人なのですよ。」
と、最後まではげましてあげること、それがたいせつなことなのです。たとえ一人でも二人でも、①そうして救ってあげることがたいせつなのです。
②休けいの家に運ばれて、初めの日に死んでいったベンガル人は、若い修道女に見守られながら死んでいきました。
「③ありがとう。」
ベンガル人は、たったそれだけを言い残すことができたのです。それでも、幸せだったといえるのではないでしょうか。なぜなら、もし道ばたで死んだとしたら、そのベンガル人の死を悲しんでくれる人は、だれもいなかったにちがいないからです。「ありがとう。」という言葉は、初めて人間としてあつかわれた貧しい人の、せいいっぱいの喜びの声だったのです。
こうして、テレサが修道女たちと始めたこの休けい所は、いつか、「死を待つ人の家」と呼ばれるようになりました。しかし、この呼び名は、本当はちがいます。この家は、一九五二年八月に、正式に始まりました。そのとき、入り口には、「ニルマル・ヒルダイ」と書かれた看板がかけられたのです。それは、ベンガル語で「清い心の家」という意味です。

〈千葉茂樹「愛を運ぶ人　マザー＝テレサ」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「そうして救ってあげること」とは、どうすることですか。文中から二十二字でぬき出しなさい。（、や。も一字と数えます。）

(2)　――線②「休けいの家」の日本語での正式な名前は何でしたか。また、後にはどのような呼び名で呼ばれるようになりましたか。それぞれ文中からぬき出しなさい。

正式な名前

呼び名

(3)　――線③「ありがとう。」とありますが、これはベンガル人のどのような気持ちの表れから出た言葉でしたか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□ことに対して、□を示す気持ち。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十三講・確認(かくにん)テスト

次の言葉の類義語を選びなさい。

1　去年
ア　昨年　イ　一昨年
ウ　今年　エ　来年

2　賛成
ア　反対　イ　同意
ウ　参加　エ　絶賛

3　関心
ア　感動　イ　歓心(かんしん)
ウ　興味　エ　感心

4　価格
ア　金銭　イ　値段
ウ　金品　エ　価値

5　重荷
ア　重要　イ　重役
ウ　負担　エ　大事

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十四講・生き物はつながりの中に、〈勝負脳〉の鍛え方（説明文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

　ロボットのイヌと本物のイヌをよく見てください。本物のイヌは呼吸をしています。呼吸は、空気中の酸素を体に取り入れ、二酸化炭素を体から出すことです。えさを食べ、水を飲んで、おしっこやうんちを体から出します。このように、生き物は、外から必要なものを取り入れ、内から不要なものを出して、内と外とで物質のやり取りをしています。

　ロボットはどうでしょう。ロボットのイヌは呼吸もせず、食べたり飲んだりすることもありません。ただ、動くためにはエネルギーが必要ですから、外から電池を入れ、なくなったら交換します。生き物と同じに見えますね。本当に同じでしょうか。

　本物のイヌが、とり肉を食べたとします。肉は、主としてタンパク質からできています。タンパク質は、イヌの腸で分解されてアミノ酸という物質になります。そして、腸のかべから吸収され、血管を通ってイヌの体全体に運ばれて、そこで再びタンパク質に組みかえられます。ここで作られるのは、イヌの体を作るタンパク質であって、ニワトリのものではありません。あなたが昨日食べたカレーライスのぶた肉は、あなたの体を作るタンパク質に変わって、今あなたの一部として働いています。つまり、外から取り入れたものが自分の一部になるのが生き物なのです。ロボットの場合、電池がイヌの体に変わることは決してありません。電池は電池、ロボットはロボットです。外から取り入れたものが自分の一部になる、そのようなつながり方で外とつながっているのが、［　　］の特徴です。

〈中村桂子「生き物はつながりの中に」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線「生き物は、外から必要なものを取り入れ」とありますが、ロボットの場合、必要なものは何ですか。文中から二字でぬき出しなさい。

［　　］

(2)　本物のイヌがとり肉を食べた場合、とり肉はどのように変化していきますか。次の［　］にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

とり肉のタンパク質

↓

イヌの腸で［　　　　］に変わる。

↓腸から吸収。血管を通って体全体に運ばれる。

イヌの体を作る［　　　　］に変わる。

(3)　ロボットが生き物と同じである点を次の中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア　外から必要なものを取り入れる。

イ　動くためのエネルギーを必要とする。

ウ　外から取り入れた物質が変化する。

エ　外から取り入れたものが体の一部となる。

［　　　　］

(4)　［　］に入る最もふさわしい言葉を、文中からぬき出しなさい。

［　　　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

疲労には体の疲労と脳の疲労があります。このうち体の疲労は、安静にしたり、入浴したり、ぐっすり睡眠をとれば回復しますが、脳の疲労はそう簡単にはとれません。人間がもっとも疲れを感じるのは脳が疲労したときです。さきほどのマラソンランナーの例でも、抜いた相手に抜き返されると脳がダメージを受けるために、①急激に走る力が失われるのです。

厄介なことに脳の疲労は運動時のみならず、ふだんの生活でも発生するため、自分では気づかずに脳に疲労をためた状態で練習することになりがちです。すると、なかなか上達しないとか、記録が伸びないといった悪影響が発生します。試合をすれば後半に弱くなり、とくに競り合った状態になるといつも結果を残せないという状態になります。②「自分は勝負に弱い」と思い込んでいる人は、じつは脳に疲労をためたまま戦っているだけかもしれません。

脳はさまざまな言葉で疲労のサインを送ってきます。どうも気分が乗らない、何をするのも億劫だ、考えてプレーするのが面倒だ、この競り合いは勝てる気がしない、早く戦いを終わらせたい、などの否定的な［　　］が頭に浮かぶのは、すべて脳の疲労症状です。

では、脳の疲労とは、どのようにして起きるものなのでしょうか。

じつは、そこには心が深く関係しています。いろいろなストレスを抱えている、解決しない悩みごとがある、性格が暗くていつも悪い方に考える、技術が上達しないので焦っている、などの状態にあるとき、脳は疲労を覚えるのです。

〈林　成之「〈勝負脳〉の鍛え方」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「急激に走る力が失われる」とありますが、その理由を文中から十二字でぬき出しなさい。

(2)　――線②「『自分は勝負に弱い』と思い込んでいる人」とありますが、このような人はどんな状態にある可能性がありますか。文中から十字でぬき出しなさい。

(3)　□に入る言葉を、文中から漢字二字でぬき出しなさい。

(4)　この文章の要旨（ようし）としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　脳の疲労はふだんの生活でも発生し、それを回復させるために脳はいろいろな言葉で疲労のサインを送っている。

イ　心になんらかのストレスがかかるとき、脳は疲労を感じ、その状態になるとなかなかよい結果を残せない。

ウ　脳の疲労は心と関係しているので、性格が暗くていつも悪い方に考える人は、だれよりも脳の疲労を覚えやすい。

エ　体の疲労に比べると脳の疲労は回復しにくいが、脳が疲労をためこんだ状態でもそれほど疲れを感じない。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十四講・確認（かくにん）テスト

次の言葉の対義語を選びなさい。

1　平和
ア　口論　イ　戦争
ウ　喧嘩（けんか）　エ　悪化

2　生産
ア　消化　イ　消防
ウ　消費　エ　捨象

3　集合
ア　解散　イ　解決
ウ　解答　エ　別解

4　運動
ア　停止　イ　廃止（はいし）
ウ　抑止（よくし）　エ　静止

5　結果
ア　理由　イ　原因
ウ　転換（てんかん）　エ　逆接

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

解答編

小学６年　国語〔基礎〕

第一講　きいちゃん（物語文）

一題目

(1) いつもさびしそう
(2) ウ
(3) (例)いつもいつも、きいちゃんのことばかり考えているような人物。
(4) 高熱・手や足・訓練

二題目

(1) エ
(2) 手足が不自由
(3) きいちゃん・お姉さん・(例)感動
(4) ア

〈確認テストの解答〉

1　ア　2　イ　3　ア　4　エ　5　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　ガラスの小びん（物語文）

一題目

(1) 小さな反発
(2) ａえらそう
　ｂ晴れ晴れ
(3) ㋐大変な罪
㋑父のほこりや、自信や、かがやかしい思い出まで捨ててしまった。
(4) ㋓
(5) ウ
(6) エ

〈確認テストの解答〉
１　イ　２　エ　３　ウ　４　ア　５　イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　暮らしと道（説明文）

一題目

(1) 国を治めるため。
　経済の繁栄のため。（順不同）
(2) エ
(3) 寺や神社へお参りする旅
(4) 道は、通っ

二題目

(1) ㋐人・牛や馬・人力車・大型の馬車
　㋑（例）人と道との結びつきが、少しずつ失われ始めたという問題。
(2) 車社会
(3) イ
(4) 歩く人を主役に考える新しい道造り

〈確認テストの解答〉
１　エ　２　ウ　３　ア　４　イ　５　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　これが「週刊子どもニュース」だ（随筆）

一題目

(1) ウ
(2) 自分の頭で考える
(3) 実社会
(4) ㋐上から言われた通りのことをする（人）
（上から指示されたことだけをする）
㋑初め……上がも
終わり…です。

二題目

(1) 自分で判断しろ・自分の頭で考える
(2) エ
(3) 自分で判断しろ・訓練・自分の言葉・自分の考え・少しでもちがうこと

〈確認テストの解答〉
1 エ　2 ア　3 ウ　4 イ　5 エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　ちいさな言葉（随筆）

一題目

(1) 捨てる・なげる
(2) 東北の方言
(3) ウ
(4) ⓐ身
　ⓑ耳
(5) ア
(6) エ
(7) (例)最初に覚えた言葉は強いから。
　(例)生活の拠点を仙台に移すことになったから。(順不同)

〈確認テストの解答〉

1 ア　2 イ　3 エ　4 ア　5 ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　熟語の組み立て（漢字）

1
(1) 先
(2) 少
(3) 豊
(4) 暗
(5) 自
(6) 静

2
(1) 道
(2) 画
(3) 救
(4) 低
(5) 寒
(6) 得

3
(1) イ
(2) ア
(3) エ
(4) ウ
(5) エ
(6) イ
(7) ア
(8) エ
(9) エ
(10) ア
(11) イ
(12) ウ

4
(1) ウ
(2) カ
(3) エ
(4) イ
(5) オ
(6) ア

5
(1) 深
(2) 局
(3) 無
(4) 化
(5) 不
(6) 的

6
(1) 未
(2) 席
(3) 食
(4) 梅
(5) 表
(6) 計

〈確認テストの解答〉

１　ウ　２　イ　３　ア　４　エ　５　ア

第七講　詩

一題目

(1) イ・エ（順不同）

(2) ア・エ（順不同）

二題目

(1) ㋐雨

㋑比ゆ

(2) ぬらした

三題目

(1) 山々の雪・谷

(2) イ

(3) ウ

〈確認テストの解答〉

１　ウ　２　イ　３　エ　４　ア　５　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　短歌・俳句

一題目

(1)(例)わらびが芽を出したこと。
(2)一目見ん一目みん
(3)銀杏
(4)ウ
(5)イ

二題目

(1)ア
(2)蜜柑の香せり
(3)たんぽぽの花
(4)a蟬の声(せみのこえ)
　b閑さ(しづかさ)
(5)エ

三題目

(1)ウ・エ(順不同)
(2)ア
(3)小さき歩み
(4)ねこの子・すず・おと

四題目

(1)季語…プール
　季節…夏
(2)(例)小さい
(3)ア
(4)ウ
(5)すみれ草
(6)G…エ
　H…イ
(7)(例)甲虫が引っぱっているから。
(8)ウ

〈確認テストの解答〉

１　ア　２　ウ　３　エ　４　イ　５　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　セミたちと温暖化（説明文）

一題目

(1) お通しすべき応接間もない。
(2) 子どもたちが描いたアリの絵
(3) 感嘆
(4) 思い思いに・それぞれに抱いているさまざまなアリの姿の思い

二題目

(1) 納得がいった上
(2) イ
(3) ウ

〈確認テストの解答〉
1 ウ　2 イ　3 エ　4 エ　5 ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　ロシアパン①（物語文）

一題目

(1) ㋐おい、お前の所のロシア人が、パンを売りに来たぞ。（「」をつけても可）
㋑ロシア人がうらめしくなった

(2) ㋐イ
㋑はずかしく・かわいそう

二題目

(1) 時折食べる
(2)（例）ロシアパンを好きになったから。（ロシアパンを食べたかったから。）
(3) 大人のように・子ども
(4) 初め……かれが町
終わり…気がした

〈確認テストの解答〉

1 イ　2 ウ　3 エ　4 ア　5 ウ

第十一講　ロシアパン②（物語文）

一題目

(1) あたりまえ
(2) ㋐おどろいたようにして顔を見合わせた
㋑心からにくらしい（気持ちになった。）
(3) ア

二題目

(1) （例）心からかわいそうに感じた。
(2) ②イ
③エ
(3) （例）ものさびしい気持ち。

〈確認テストの解答〉

1 ア　2 ウ　3 ウ　4 エ　5 エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　近代科学の父　ガリレオ・ガリレイ①（伝記）

一題目

(1) 物が落ちるときの速さについて
(2) 重い物・軽い物・速く落ちる・アリストテレス
(3) ア

二題目

(1) ふりこを使って人の脈の速さを測る道具
(2) 実験
(3) 物理学の神様
(4) わかりきったこと

〈確認テストの解答〉

１　イ　２　ア　３　エ　４　ア　５　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講　近代科学の父　ガリレオ・ガリレイ②（伝記）

一題目

(1) ガリレオが今まで思いもしなかった天体の姿があったから。
(2) 木星の四つの衛星・木星の周りを回っている
(3) ウ
(4) コペルニクス・地動説・賛同

二題目

(1) むすめのマリア・急死
(2) ア
(3) それでも地球は動いている（ということを証明するため。）
(4) 実験や観測によって真実を見いだす（精神。）

〈確認テストの解答〉

1 エ　2 ウ　3 イ　4 エ　5 イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講　ことわざ、慣用句

1、ことわざ

1
(1) ウ
(2) イ
(3) ア

2
(1) エ
(2) ウ
(3) イ
(4) ア

3
(1) ア
(2) ウ
(3) イ

4
(1) 意味…イ　ことわざ…コ
(2) 意味…エ　ことわざ…ク
(3) 意味…ア　ことわざ…カ
(4) 意味…ウ　ことわざ…ケ
(5) 意味…オ　ことわざ…キ

5
(1) オ
(2) エ
(3) カ

2、慣用句

1
(1) 目
(2) 口
(3) 手
(4) 耳
(5) 顔

2
(1) 手
(2) 鼻
(3) 歯

3
(1) ア
(2) ウ
(3) カ
(4) イ

4
(1) イ
(2) ウ
(3) ア

5
(1) 口
(2) 足
(3) 手

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈確認テストの解答〉

１　ウ

２　ア

３　イ

４　イ

５　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講　文の組み立て

1、主語と述語

2、主語と述語の関係

1

(1) 主語…母が　述語…買った
(2) 主語…冬は　述語…寒い
(3) 主語…ポスターが　述語…ある

2

(1) 主語…祖父は　述語…作家だった
(2) 主語…友人こそ　述語…ふさわしい
(3) 主語…巣が　述語…あった

3

(1) イ
(2) ウ
(3) ア

4

(1) イ
(2) ア
(3) ウ

3、修飾語

1

(1) イ
(2) ウ
(3) エ
(4) エ

2

(1) 難しい
(2) とても
(3) 弟たちと・試合を
(4) 昨日・アメリカから　（(3)・(4)は順不同）

3

(1) 働いている
(2) 持ち主は
(3) かばんが

4

(1) あちらの・大きな・白い
(2) たくさん
(3) 試合で・ひざを・ひどく
(4) ビルで・大量に　（それぞれ順不同）

〈確認テストの解答〉

1 イ　2 ア　3 エ　4 ウ　5 ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講　ことばの種類

1
ア・イ・エ・オ・カ・ケ・コ・サ・シ　（順不同）

2
(1) 起きる・みがく
(2) 信じる・見る
(3) 行く・乗る　（それぞれ順不同）

3
(1) イ・ウ・キ
(2) オ・ク
(3) ア・エ・カ　（それぞれ順不同）

4
(1) ① ア　② ウ
(2) ① イ　② イ
(3) ① ア　② ア　③ ウ
(4) ① ア　② ウ　③ イ

5
(1) ① ア　② ウ
(2) ① ウ　② イ　③ ウ
(3) ① ア　② ウ　③ ア

〈確認テストの解答〉
1　ウ　2　エ　3　イ　4　ア　5　ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講　バイオリンと歩むなかから（随筆）

一題目

(1) ア

(2) ㋐（例）もし失敗しても、初めから謝ってしまえば許される、という甘え（があるから）。

㋑たとえ失敗をしても、その全責任を自分が背おって、他人には絶対に泣き言などいわない（という考え方。）

㋒（例）日本人よりずっと自分自身に厳しい（と思った。）

〈確認テストの解答〉

１ イ　２ ア　３ ウ　４ イ　５ エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講　支え合う仲間（論説文）

一題目

(1) a ちがう
b ならない
c 感情的
d 反発

(2) 独りぼっちは自由のようだが、ほんとうは不自由なのだ。

(3) 7

〈確認テストの解答〉

1 エ　2 エ　3 エ　4 ア　5 エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講　ぼくの世界、きみの世界（論説文）

一題目

(1) 言葉のキャッチボール
(2) イ
(3) Ａウ
　Ｂア
(4) たずね合う～かっていく(から。)
(5) ア

〈確認テストの解答〉

１　イ　２　ウ　３　エ　４　ア　５　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講　豊かさのゆくえ（説明文）

一題目

(1) 定年制
(2)（例）日本の労働力が相対的に安かったから。
（例）日本の製造業のもつ技術力が高かったから。（順不同）
(3) 欧米のモノづくりを忠実にまねること
(4) 労働力
(5) ウ

〈確認テストの解答〉
1 ウ　2 ア　3 エ　4 ウ　5 エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講　古典

一題目

(1) 春…夜明け
夏…夜
秋…夕暮れ
冬…早朝

(2) ゆるんで・白い灰ばかり・みっともない

二題目

(1) 数人・一人
(2) (例)蛇には足がないのに、足をかいてしまったから。
(3) ア

〈確認テストの解答〉

1 エ　2 イ　3 ウ　4 ア　5 イ

第二十二講　愛を運ぶ人　マザー＝テレサ①（伝記）

一題目

(1) いつ………一九一〇年
どこで……現在のマケドニアの首都であるスコピエという町
(2) あフランシスコ
いわたしも、
(3) 女学校の校長

二題目

(1) あ(例)すくいたい
いスラムの子どもたちのための学校や、孤児の家を作り始めた
(2) 一九五二年の真夏の暑い日
(3) エ

〈確認テストの解答〉
1 イ　2 ア　3 イ　4 ウ　5 エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十三講　愛を運ぶ人　マザー＝テレサ②（伝記）

一題目

(1) ア
(2) 休けいの家
(3) イ
(4) 病気・さびしい思いに追いやられる

二題目

(1) 死んでいく最後の最後まで、手を差しのべること
(2) 正式な名前…清い心の家
　呼び名………死を待つ人の家
(3) 初めて人間としてあつかわれた・せいいっぱいの喜び

〈確認テストの解答〉
１　ア　２　イ　３　ウ　４　イ　５　ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十四講　生き物はつながりの中に、〈勝負脳〉の鍛え方（説明文）

一題目

(1) 電池
(2) アミノ酸・タンパク質
(3) ア・イ（順不同）
(4) 生き物

二題目

(1) 脳がダメージを受けるため
(2) 脳に疲労をためた状態
(3) 言葉
(4) イ

〈確認テストの解答〉

１　イ　２　ウ　３　ア　４　エ　５　イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。